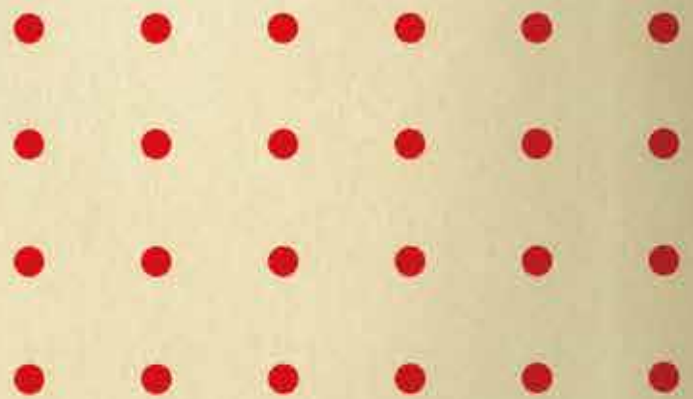




Fukuoka Art Museum Annual Report 2000

平成12年度

福岡市美術館
活動の記録






Fukuoka Art Museum Annual Report 2000

平成12年度

福岡市美術館
活動の記録



目次

凡例	04
美術館日誌	05
展示活動	06
主催展	
特別企画展等	06
常設展	12
常設企画展	14
主催展関連記事	17
貸出展	20
観覧者数一覧	26
教育普及活動	27
アートアドベンチャー	27
夏休みこども美術館	27
講座・講演会	28
読書室企画	30
博物館実習	30
ボランティア活動	30
施設利用状況	32
出版物	38
調査研究活動	40
収集活動	41
美術資料	41
図書・映像資料	47
美術資料の修復と貸出	48
名簿	51

共通

- 本号子は福岡市美術館の平成12年4月1日から平成13年3月31日までの活動の記録である。ただし、展覧会の時期がその前後に渡るものも含む。また、期日を記した部分でH・12は平成12年の略字である。
- 「美術館日誌」は美術館主催の主要な事業を挙げた。
- 主催展覧会の観覧者数の明細は「観覧者数一覧」に別途記載している。展覧会の詳しい内容については印刷物として図録を刊行している。参照のこと。また、展覧会の関連事業は「施設利用状況」にも別記している。
- 「収蔵品活動」の「美術資料」は平成12年度に本市が財団法人福岡市文化芸術振興財団より購入したものである。なお、データでの注(法量)は、冊子は平面作品の146.2×112.3は縦146.2、横112.3(イメージサイズ)で、立体作品の74.3×46.0×11.0は高さ74.3、幅46.0、奥行11.0で、単位はセンチメートルである。また、所蔵品番号の番号記号の意味は下記の通りである。例えは1-A-452は郷土作家の油彩画の452番である。

1 郷土作家 (註1)	A 油彩等 (註2)	作品番号
2 日本作家	B 日本画等 (註3)	
3 海外作家	C 水彩等 (註4)	
4 彫出資料	D 彫刻	
5 東光院仏教美術資料	E 版画	
6 松本コレクション	F 写真	
7 大田コレクション	G 彫刻等 (註5)	
8 石村コレクション	Ha~Hf 工芸 (註6)	
11 森山コレクション	I 書跡	
12 三草コレクション	J 文書	
13 山崎新宮資料	K その他	
14 一般古美術資料		
15 研究資料		
16 西本コレクション		
18 クスマコレクション		

注

- 九州および山口県、沖縄県の出身・在住作家
- A(油彩等)の分類には、大きさや形状から油彩画と同等と思われる作品も含む。すなわち、アクリル絵の具による絵画、複色の技法の併用による作品、レリーフ、コラージュ、布・紙・金属などの特殊な素材による作品も含む。立体の付属物があっても正面から鑑賞される標面展示の作品。版画技法を用いても1点制作である作品。書画であってもその大きさや表現が油彩画に匹敵すると思われる作品もまたAに分類した。
- B(日本画等)の分類には、伝統的な素材・技法・形状による中国や朝鮮の絵画も含む。
- C(水彩等)の分類には、パステルなどの多色を基調とする作品も含む
- G(彫刻等)の分類には、オブジェ、インスタレーションなどの立体作品も含む。
- H(工芸)は素材別に付番号を行った。陶磁器はHa、漆工はHb、金工はHc、染織はHd、刀剣はHe、その他はHfとした。

なお、作品名の「」は当館で作成した仮題である。

- 図録の+は藤本健八氏撮影のもの。

平成12年

- 4月1日(土) 第34回福岡市美術展「表彰式」
- 4月21日(金) 「日本の美・美しい」展開式
- 5月5日(日) こどもの日につき小・中学生の常設展示を無料とした
- 6月16日(金) 平成12年度第1回美術館協議会
- 7月1日(土) 夏期の開館時間延長を開始(8月31日まで)
- 7月6日(土) 臨時休館(隣接する日本庭園でサミット関連事業が開催されたことによる)
- 7月9日(日) 「北斎展」開会式
- 7月18日(火) 夏休みこども美術館「古美術ワンダーランド〜美しさいっぱいむかし絵」の期間中、小・中学生の常設展示観覧料を無料とした(8月27日まで)
- 8月5日(日) 夏休みこども美術館「古美術ワンダーランド〜美しさいっぱいむかし絵」のワークショップ(8月6日まで)
- 8月9日(水) 作品寄贈者への感謝状贈呈式
- 8月21日(月) 「ポルドー美術館」開会式
- 10月4日(水) 黒田資料評議会
- 10月7日(土) 「水晶の塔をさがして」展開式
- 10月17日(火) 尾花剛を団長とする美術交流団をポルドー市(フランス)へ派遣(10月26日まで)
- 10月20日(金) 美術交流団、福岡市美術館ポルドー会場の開会式に参加
- 11月3日(日) 開館記念講演会「中世博多と茶の美」およびシンポジウム「博多の美金の日々と茶の湯」
- 11月3日(日) 開館記念日につき常設展示を無料とした
- 11月14日(火) 美術資料収集審査会(近現代美術)
- 12月8日(日) 平成12年度第2回美術館協議会
- 12月10日(日) カトリーヌ・ミエ氏によるフランス美術史講座「公共空間における“アート”」を開催(フランス大使館、九州日仏学館との共同開催)
- 12月13日(水) ラファエル・コラン侯の企画および図録に対し、優雅美術奨励賞を受賞(三谷理華・山本香瑠子)
- 12月28日(水) 優雅美術奨励賞受賞に伴い、福岡市職員としての名譽を高めたということで福岡市職員表彰を受ける(三谷理華・山本香瑠子)
- 12月28日(水) 仕事納め

平成13年

- 1月4日(木) 仕事始め
- 1月5日(金) 「重傳り浮世絵名品と珠玉の絵巻展」開会式
- 1月5日(金) 読書室企画「美術をめぐる冒険Part 6」(3月25日まで)
- 1月7日(日) アトリエ・親子版画教室「冬の中で〜自然をテーマに木版画にチャレンジ」(1月8日まで)
- 1月19日(金) 優雅賞受賞祝賀会
- 1月21日(日) グイル・レヴィン氏による講演会「20世紀アメリカン・アート」を開催(福岡アメリカンセンターとの共同開催)
- 1月26日(金) 美術資料収集審査会(古美術)を開催(1月26日および29日)
- 2月10日(土) 第35回福岡市美術展「作品受付」(2月11日まで)
- 2月17日(土) 第3回所蔵品によるアートセミナー「黒田漢仙と近代日本画」(以降3月17日まで土曜日毎に開催 全5回)
- 2月20日(火) 第35回福岡市美術展「審査会」(2月22日まで)
- 2月24日(土) インド大使来訪
- 3月1日(木) 火災予防訓練を実施
- 3月2日(金) 第35回福岡市美術展「入選・入賞者発表」
- 3月18日(日) 第35回福岡市美術展「表彰式」



福岡市美術館ポルドー会場での開会式



開館記念講演

日本の美 笑い

会期◎平成12年4月21日(金)～5月14日(日)
会場◎特別展示室 A



出品作品 福地 善茂(老人六歌仙図巻風) 江戸時代

主催◎福岡市美術館/西日本新聞社/テレビ西日本
後援◎福岡市文化芸術振興財団/西日本放送
西日本リビング新聞社/TVQ TXN九州/CROSS FM
FM FUKUOKA/LOVE FM
協力の日本航空

内容

日本美術を今日の日で見る場合に一つの視点となるのが、絵の中に「笑い」を見出すことであろう。このような見方で集められた平安時代から近代までの、国内外の作品は国宝・重要文化財を含めて約180点を数えた。それらは伝統的な主題になぞらえた洗練された発想(見立て)から、奇想天外で奇妙奇天烈な発想のもの、さらには下ネタや化け物を使うことなどで、見る人に大いに「笑い」を提供するとともに、日本美術への関心を促す役割を果たしたのではないかとと思われる。本展は島根県立美術館へも巡回された。



ポスター-B2

観覧料	一般 1,000円(800円)	()内は前売、団体(20人以上)、シルバー手帳、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳所持者料金。
	高・大生 800円(600円)	
	小・中生 500円(300円)	

開催日数 21日

出品点数 181点

観覧者数 10,989人

印刷物 ポスター(B2、B3)
チラシ(A4)
図録(A4変形・208頁)

関連事業 講演会
日時:平成12年4月22日(土) 午後2時より
会場:講堂
演題:「日本美術の楽しみかた」
講師:柳原 悟氏(群馬県立女子大学教授)

北斎展

会期◎平成12年7月9日(日)～8月16日(水)
会場◎特別展示室 A



会場風景

主催◎福岡市美術館/西日本新聞社/テレビ西日本
後援◎福岡市文化芸術振興財団/西日本放送/テレビ長崎
テレビ熊本/CROSS FM/FM FUKUOKA/LOVE FM
西日本リビング新聞社/西日本婦人文化サークル
西日本文化サークル連合会
特別協力◎島根北斎美術館
特別協賛◎味の素 小くや

内容

本展は、平成4(1992)年に当館で開催された「浮世絵の巨匠 北斎展」に続く第二弾である。島根北斎美術館所蔵作品を中心に、その後に見発された作品、行方のわからなかった作品など新たに加えた北斎の全体像を知る展覧会である。出品作品は、肉筆画22点、画稿・版下絵4点、版画(錦絵)98点、摺物・絵巻25点、版本12点の計161点である。なお本展は、島根北斎美術館開館十周年を記念して企画された。



ポスター-B2

観覧料	一般 1,100円(900円)	()内は前売、団体(20人以上)、シルバー手帳、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳所持者料金。
	高・大生 800円(600円)	
	小・中生 500円(300円)	

開催日数 33日

出品点数 161点

観覧者数 45,007人

印刷物 ポスター(B2、B3)
チラシ(A4)
図録(A4変形・106頁)

関連事業 講演会
日時:平成12年7月20日(休) 午後2時より
会場:講堂
演題:「北斎の芸術」
講師:永田生慈氏(北斎研究者)

浮世絵摺りの実演
期日:平成12年7月29日(土)、7月30日(日) 各午前11時・午後2時より
会場:2階ロビー
講師:渡辺英次氏(渡辺木版美術画舗)

ボルドー美術館展

会期◎平成12年8月22日(火)～10月1日(日)
会場◎特別展示室 A



会場風景

内容

ワインの生産地として名高く、福岡市の姉妹都市でもあるフランスのボルドー市に位置するボルドー美術館は、1801年にナポレオンによって新設された歴史の長い美術館である。ヨーロッパ(美術)の優れたコレクションを戴いたフランス有数のこの美術館では、とりわけ19世紀から20世紀にかけてのフランス近代美術の所蔵品が質、量ともに豊富であり、この分野から選ばれた107点を展示、紹介した。

観覧料	一般	1,000円(800円)	()内は前売、団体(20人以上)、シルバー手帳、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳所持者料減。
	高・大生	800円(600円)	
	小・中生	500円(300円)	

開催日数 36日

観覧者数 47,190人

出品点数 107点

印刷物 ポスター(B1、B2、B3)
チラシ(A4)
図録(A4変形・185頁)

関連事業 講演会Ⅰ
日時:平成12年8月26日(土) 午後2時より
会場:講堂
演題:「フランス美術史の二世紀にわたる入門の旅」
講師:アニエス・ピロ氏(ボルドー美術館教育普及担当)

講演会Ⅱ
日時:平成12年9月15日(金) 午後2時より
会場:講堂
演題:「フランス近代絵画の魅力ーボルドーのコレクションをめぐってー」
講師:三浦 薫氏(東京大学助教授)

主催◎福岡市美術館/西日本新聞社/テレビ西日本
後援◎外務省/文化庁/フランス大使館
福岡市文化芸術振興財団/西日本鉄道
西日本リビング新聞社/TVQ TXN/LLH/CROSS FM
FM FUKUOKA/LOVE FM/西日本天神文化サークル
西日本文化サークル連合会
協賛◎九州電力
協力◎日本航空/九州日仏学院/西鉄所行



ポスター-B2

水晶の塔をさがして
現代アートが開く「私」の世界

会期◎平成12年10月7日(土)～11月5日(日)
会場◎特別展示室 A



大森裕美子作品展示風景



小林健二作品展示風景

内容

小林健二、大森裕美子、佐々恭子、松尾藤代、平田五郎の作品を展覧した現代美術展。「自らにとって大切な何か」という私的で漠然とした物が、美しい水晶へと結晶した状態を「水晶の塔」と名付け、これをキーワードに作家を選考。「水晶の塔」をさがし求めて自らの内面の静寂に耳を傾け、じっくりと時間をかけて制作を行っている現代作家たちの、静かで力強いインスタレーションや絵画が、劇的で印象深い展示を作り上げた。当館開館以来初の、国内作家による本格的な現代美術展であった。

観覧料	一般	1,000円(800円)	()内は前売、団体(20人以上)、シルバー手帳、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳所持者料減。
	高・大生	600円(500円)	
	小・中生	400円(300円)	

開催日数 26日

観覧者数 3,544人

出品点数 38点

印刷物 ポスター(B2、B3)
チラシ(A4)
図録(A4変形・92頁)
展示記録(A4変形・17頁)

関連事業 佐々恭子+原田伸雄(舞踏青龍會)パフォーマンス
日時:平成12年10月7日(土) 午後1時より
会場:特別展示室 A

大森裕美子のお話会「いいもののおはなし」
日時:平成12年10月21日(土) 午後2時より
会場:教養講座室

小林健二スペシャルトーク「見えないものを見るチカラ」
日時:平成12年10月29日(日) 午後2時より
会場:講堂

平田五郎スライド&トーク「私が観の家をつくるわけ」
日時:平成12年11月5日(日) 午後2時より
会場:教養講座室



佐々恭子作品展示風景



松尾藤代作品展示風景



平田五郎作品展示風景



ポスター-B2

RKB毎日放送創立50周年記念
五代太田清蔵コレクション

里帰り浮世絵名品と珠玉の絵画展

会期○平成13年1月5日(金)ー2月4日(日)
会場○特別展示室 A



出品作品「児島屋三郎」五代太田清蔵氏像 1956年

主催○大田記念美術館/福岡市美術館/RKB毎日放送
西日本新聞社
後援○福岡県/福岡教育委員会/福岡市文化芸術振興財団
福岡商工会議所/CROSS FM/FM FUKUOKA
LOVE FM/西日本リビング新聞社
西日本文化サークル連合会/西日本天神文化サークル
西日本鉄道/九州
特別協賛○NHK福岡放送局
協賛○ホテル日航福岡
協力○ヤマト運輸/日本航空

内容

福岡市出身の実業家・五代太田清蔵(1893~1977)が約半世紀にわたって収集した浮世絵、扇絵、近世絵画、油絵、日本画、水彩画、版画など204点を、はじめて生誕の地である福岡で一堂に展覧した企画展である。

出品作品は、大田記念美術館(東京)の貴重な肉筆画50点を含む浮世絵140点の他、昭和52(1977)年に福岡市美術館に寄贈された作品(383点)の中から厳選した37点である。



ポスター-B1

観覧料	一般	1,100円(900円)	()内は郵券、団体120人以上1、シルバー手帳、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳所持者料金。
	高・大生	800円(600円)	
	小・中生	500円(300円)	

開催日数 27日

観覧者数 35,700人

出品点数 204点

印刷物 ポスター(B1、B2)
チラシ(A4)
リーフレット(出品作品リスト)(A4・4頁)

第35回福岡市美術展

会期○平成13年3月13日(火)ー3月25日(日)
前期:平成13年3月13日(火)ー3月18日(日) 休館:春分(土)
後期:平成13年3月20日(火)ー3月25日(日) 休館:春分(土)
会場○特別展示室 A・B、市民ギャラリー A・B・C・D



会場風景 キャラリートークの様子

主催○福岡市/福岡市教育委員会/福岡市美術展運営委員会
後援○九州日仏学館/福岡県教育委員会/福岡県美術協会
福岡文化連盟/福岡市文化芸術振興財団
西日本新聞社/福岡市姉妹都市委員会

内容

美術の各分野における市民の創造活動を促進し、その成果の発表と賞賛の機会を提供することにより、市民の美術活動の振興を図ることを目的に、毎年開催している公募展。今回は、洋画等7部門で1,346人(1,619点)の応募があり、内837人(846点)が入選・入賞した。

また、姉妹都市ボルドー(フランス)との美術交流を行っており、第34回入賞作品55点をボルドー市で開催の福岡市美術展において展示した。なお、日仏姉妹都市賞受賞者のボルドー市からの招待に併せて、入選者を対象に募った美術交流団22名を派遣(自費参加)する等、両市民の文化交流並びに友好親善に寄与している。

観覧料	一般	300円
	高・大生	200円
	小・中生	無料

開催日数 12日

観覧者数 7,641人

出品点数 882点(審査員・招待出品を含む)

印刷物 ポスター(B2・2種)
開催要項(B4二つ折)
図録(A4変形・47頁)

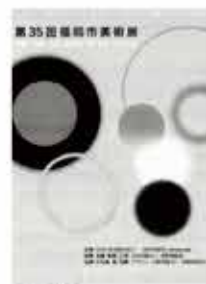
関連事業 賞・入選発表
期日:平成13年3月2日(金)

表彰式
期日:平成13年3月18日(日)
会場:講堂
各賞:特別賞(日仏姉妹都市賞)1点、福岡市長賞7点、福岡市議会議員賞2点、福岡市教育委員会賞・福岡県美術協会賞、福岡文化連盟賞・福岡市文化芸術振興財団賞各1点、西日本新聞社賞3点、福岡県美術協会奨励賞7点、奨励賞32点。

ギャラリートーク
期日:前期 平成13年3月18日(日)
後期 平成13年3月25日(日)



日仏姉妹都市賞 福岡市長賞(洋画部門)・八幡町新7(洋画)



ポスター-B2

出品・入賞入選状況

部門	出品(応募)		入賞・入選		招待(入・点)	賞数の数(点)
	人員(人)	点数(点)	人員(人)	点数(点)		
日本画	46	48	33	33	4	37
洋画	316	421	251	251	5	256
彫刻	43	45	29	30	5	35
工芸	154	185	72	73	5	78
書	377	420	216	216	6	222
写真	278	352	166	166	6	172
デザイン	132	148	70	77	5	82
合計	1,346	1,619	837	846	36	882

第34回 1,340 1,616 854 863 34 897

注 招待点数は審査員出品を含む。

観覧料＝一般200円(150円)、高・大生150円(100円)、小・中生100円(60円)。
ただし、福岡市内に在住する、福岡市発行のシルバー手帳、障害手帳又は、
身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳所持者は無料。| 1回1団体(20人以上)料定。
観覧人数20名を要す。

近現代美術

■旧常設展示室A

日本近代美術史に重要な役割を果たした九州・山口出身作家の作品を展示。

■旧常設展示室B

シュルレアリスムから抽象絵画、ポップ・アートなど20世紀美術の様々な流れを幅広く紹介。

■日本画工芸室

富田深仙展

平成12年3月28日(火)～4月30日(日)
福岡市出身の近代日本画家・富田深仙(1879～1936)の傑作(春画の幅)沖鶴三郎)など7点を展示。

「山水」と「風景」

平成12年5月2日(火)～6月4日(日)
日本近代における風景表現の多様化を示す日本画、洋画18点を展示。

郷土作家特集 井上三綱展

平成12年6月6日(火)～7月16日(日)
戦後、異色の洋画家として活躍した井上三綱(1899～1981)は単色絵でも野心的な作品を発表した。そうした背景を中心に11点を展示。

夏の風物詩

平成12年7月18日(火)～8月27日(日)
夏にちなんだ絵画をとりあげた日本画、洋画、彫刻20点を展示。

小早川清展

平成12年8月29日(火)～10月9日(月)
鉄木流の門下生であり、異色の洋画家として活躍した福岡出身の小早川清(1895～1945)の日本画、水彩画23点を展示。

水上素生展

平成12年10月11日(水)～11月19日(日)
福岡県出身の日本画家・水上素生(1877～1951)の描いた風景画をとりあげた作品8点を展示。

鹿の表現

平成12年11月21日(火)～12月27日(水)
日本画、洋画の中から鹿で表現された絵画作品を選び12点を展示。

花鳥の美

平成13年1月5日(金)～2月12日(月)
日本の四季を彩る風流の美として、志果より結城の土曜として書き続けられてきた花鳥を描き出した日本画を厳選し、11点を展示。

吉村忠夫展

平成13年2月14日(水)～3月25日(日)
大和絵の伝統を良く継承し、古典的ながら個性を示した福岡県出身の日本画家・吉村忠夫(1898～1952)と、関連作家の歴史・高松画11点を展示。

富田深仙展

平成13年3月27日(火)～5月27日(日)
郷土を代表する日本画家・富田深仙(1879～1936)の(春画の幅)をはじめとする作品を厳選し、9点を展示。



吉村忠夫展(会場風景)

■小作品展

小野忠重展

平成12年3月28日(火)～4月30日(日)
戦前、戦後を通じて活躍した日本の代表的木版画家・小野忠重(1909～1990)の名品や貴重な作品18点を展示。

メクセーバー展(西本コレクション)

平成12年5月2日(火)～6月4日(日)
ドイツの現代版画家フリードリヒ・メクセーバー(1935～)の作品22点によって、作家の不思議なオブジェと記号で描き出されるロマンティックで神秘的な世界を紹介。

郷土作家特集 古川吉重展

平成12年6月6日(火)～7月16日(日)
1921年福岡生まれの洋画家。戦後で活躍し、1963年に渡米、以後ニューヨークを中心に活躍中である橋本浩、ドローイング、版画を合わせて15点を展示。

横尾忠則の版画(ポスター)展

平成12年7月18日(火)～8月27日(日)
'60年代に若者に衝撃を与えた横尾忠則(1936～)の作品を(新わりの美字)などの代表作21点で紹介。

海老原喜之助の美術展

平成12年8月29日(火)～10月9日(月)
独立美術協会展を中心に活躍した鹿児島市出身の洋画家・海老原喜之助(1904～1970)の美術26点を紹介。

山中現展(西本コレクション)

平成12年10月11日(水)～11月19日(日)
現代芸術界で活躍する木版画家・山中現(1954～)、和紙に水で心を象徴を際立たせて表現されるほのぼのとした絵画世界を、21点の作品で紹介。

デュビュッフェ展

平成12年11月21日(火)～12月27日(水)
フランスのアンフォルムル派の画家ジャン・デュビュッフェ(1901～1965)、子どもや知的障害を持つ人々の素朴な表現力に感銘を受けたこの画家の絵画集「物質」と記憶あるいは学校の石造器類たちから17点を展示し、賞讃しながらも批判的に描かれた作品世界を紹介。

アルバース展

平成13年1月5日(金)～2月12日(月)
ドイツの画家で、戦時を逃れてアメリカに移民し、幾何学的抽象の運動「オブ・アート」の代表的作家となったヨゼフ・アルバース(1888～1976)、版画(フォーミュレーション・アーティキュレーション)から17点を展示。

長谷川潔展

平成13年2月14日(水)～3月25日(日)
独特のモチーフの世界を繰り広げた版画家・長谷川潔(1891～1980)、若き日にパリに渡った後、一度も母国の上を踏むことなく没した孤高の版画家、冷たさと優しさの交錯する神秘的な世界を20点の作品で紹介。

小野水作展

平成13年3月27日(火)～5月27日(日)
小野水作(1907)の身が、17才の時に軍需勤務の過労で病み、23才で血行し療養生活に入る。その時、芸術家として生きる道を選び、1976年52才で病でなくなるまで一貫して「存在の根源」を追求。本展では平成12年に購入した版画を中心に絵画を並べ18点を展示。



横尾忠則の版画(ポスター)展(会場風景)

■企画展示室

現代日本画展

平成12年3月28日(火)～4月30日(日)
戦後、強く洋画を尊重した写実主義や写実表現や大画面形式を取り入れた新しい日本画の制作を紹介。横山操(絵師)など8点を展示。

藤野一友展

平成12年5月2日(火)～6月4日(日)
二料展を中心に活躍した藤野一友(1928～1980)は、たくいまれな筆力を駆使した独自の超写実主義絵画を制作した。彼の代表作19点を展示。

郷土作家特集 九州出身の女性アーティスト

平成12年6月6日(火)～7月16日(日)
九州在住および出身または関わりの深い女性作家を19点の作品で紹介。

工藤百巳・草間彌生展

平成12年7月18日(火)～8月27日(日)
西洋の近代合理主義を徹底的に批判し、豊年日本人の精神構造を問題化した工藤百巳(1935～1990)と、自らの精神の深みにおりた、異次元的な態度を描き続けた世界的に高い評価を得ている草間彌生(1929～)、2人の作品世界を相互に比較しながら23点の作品を展示。

山本日子士良展

平成12年8月29日(火)～10月9日(月)
人物画、とりわけ女性像で有名な洋画家・山本日子士良(1910～1993)の戦前での初の傑作、武蔵野を描いた精々しい風景画や静物画もあつめ15点を展示。

和田三造展

平成12年3月27日(火)～5月27日(日)
第1回文展最高賞を受賞し、以後洋画界の豪傑として活躍した和田三造(1883～1967)の作品(博多繁島)の(西郷隆盛)の(西郷)など30点を展示。



工藤百巳・草間彌生展(会場風景)

古美術

■古美術企画展示室

周田資料品展

平成12年3月28日(火)～5月28日(日)
鉄器・銅器・陶器、武器の生活をしのげる古道具、さらびやかな道具の品名を紹介。漢文書(重要文化財)、源氏物語(重要文化財)、源氏物語(重要文化財)、源氏物語(重要文化財)のほか、絵巻、書、工芸など44点を展示。



周田資料品展
本展出品(漢文書(重要文化財)、源氏物語(重要文化財))

御用絵師展

平成12年5月30日(火)～7月16日(日)
江戸時代までの画壇の頂点にいたのは、御用絵師と呼ばれた幕府や藩のお雇い絵師であった。江戸の狩野家や尾形屋の絵師による、格式を重んじた絵の巻々のほか、写生によつたとされる動物の絵や肖像画など21点を展示。

夏休み子ども美術館2000

「古美術ワンダーランド～真しさいっぱいむかし絵の絵」
平成12年7月18日(火)～8月27日(日)
子どもたちにはあまりなじみのない古美術作品。子どものための古美術入門とするべく、展覧や形付けといった古美術知識をわかりやすく、また楽しく見せるための工夫をこらして12点の作品を展示した。

インドネシアとインドの染織

平成12年8月29日(火)～10月29日(日)
かつて世界でも最長の絹織物だったインドの染織は貿易品として、日本を含むアジア各地で珍重された。インドの染織の品名と、特にインド染織から多大な影響を受けたインドネシアの染織を中心に32点を展示。

仙伝展 一仙伝の画展 三博多へ来た仙伝さん

平成12年10月31日(火)～12月27日(水)
仙伝は関東で修行し、あてのない旅路の末、聖徳太子の御孫123歳の住僧として、責任する。博多へ来てからの仙伝の行動をまくりながら、その書画31点を展示。

新所蔵品展

平成13年3月27日(火)～5月13日(日)
収蔵で話題となった岩佐文吾画の藤原朝興(三十六歌仙)の他、近年収蔵した作品50点を展示。

■松永記念館室

春の名品展

平成12年3月28日(火)～5月28日(日)
松永コレクションの中から、春から初夏にかけての印象を感じさせる、尾形物山(梅園)や野村(あけぼの)などの他、高松の品名22点を展示。

唐物・高麗・和物茶室

平成12年5月30日(火)～7月16日(日)
松永館蔵の茶室を一堂に公開。唐物を代表する建武天目茶碗、松永館伝来の名品高麗唐茶碗、対峙の指導を受けた長次郎作 萬葉茶碗 龍(次郎)など、20点を展示。

松永耳鳴と外国の美術工芸

平成12年7月18日(火)～8月27日(日)
茶道具や仏具のコレクターとして知られた松永耳鳴は、その鋭い美術眼で、ギリシャやエジプトの美術にもコレクションの範囲を広げている。ギリシャ彫刻やコプトなど23点を展示。

秋の名品展

平成12年8月29日(火)～10月29日(日)
松永コレクションの中から尾形物山(花巻)の(重要文化財)、明恵上人(夢記)の(重要文化財)など秋にちなんだ品名を中心に18点を展示。

茶の湯と仏具 新録・三溪と耳鳴

平成12年10月31日(火)～12月27日(水)
高松の茶室に仏具を取り入れた最初の茶室主人松永三溪と耳鳴の関係を、松永コレクションの中に探る。19点を展示。

金工と漆工

平成13年1月5日(金)～2月12日(月)
高松で知られる松永コレクションの中の、金工と漆工にスポットをあてて紹介。高松平文(重要文化財)、高松文(重要文化財)など、22点を展示。

名品展

平成13年2月14日(水)～3月25日(日)
田・源(山水図)、尾形物山(梅園)など古美術コレクションの品名21点を展示。

春の名品展

平成13年3月27日(火)～5月13日(日)
野村(あけぼの)の(重要文化財)など春にちなんだ高松の品名を中心に20点を展示。



唐物・高麗・和物茶室
本展出品(高麗唐茶碗(重要文化財))

■東光院仏教美術室

薬師如来と十二神将立像(藤原時代・南北朝時代)(以上重要文化財)
ほか東光院伝来の仏教彫刻を常時展示。
平成13年2月6日(火)～3月25日(日)の期間のみ展覧会を併せて展示。

第2回21世紀の作家—福岡
奈野よう子展 美しい術

会期○平成12年10月11日(水)—12月27日(水)
会場○企画展示室



会場風景・

観覧料 常設展観覧料

内容

福岡市の現代美術の発展に貢献し、また貢献することが期待される作家を紹介するシリーズの第2回展。福岡市在住の奈野よう子は、福岡・東京などで個展やグループ展を開催する一方、ギャラリー空間だけでなく、街中における展覧会の試みにも参加し、90年代の福岡における現代美術シーンの歩みとともに育ってきた作家。個展としては初めての美術館での発表となった本展覧会では、色彩の微妙な変化による平面作品と、金色の顔線とが組み合わされた大規模な新作のインスタレーションが発表された。

出品点数 3点

印刷物 ポスター(B2)
チラシ(A4)
図録(A4変形・42頁)

関連事業

アーティスト・トーク
日時:平成12年10月14日(土) 午後2時より
会場:教養講座室
講師:奈野よう子氏

ギャラリー・トーク
日時:平成12年12月14日(木) 午後4時30分より
会場:企画展示室
講師:奈野よう子氏



ポスター-B2

流動する美術—VII
視覚を越えて・巡りて
日高理恵子/光島貴之の絵画

会期○平成13年1月5日(金)—3月25日(日)
会場○企画展示室



会場風景・

観覧料 常設展観覧料

内容

ふだん、あまりにも自明のこととして、尊厳することの少ない「視る」。あるいは「視えている」という事実を問いつつ企画展である。本展では天空を直上視する日高理恵子の「櫻々」の作品と、10歳の時に視覚を失い、現在触覚にて制作する光島貴之の絵画作品を通して「視覚」のあり方と新たな可能性を考察しようとするもの。

出品点数 15点

印刷物 ポスター(B2)
チラシ(A4)
図録(A4変形・31頁)

関連事業

アーティスト・トーク
日時:平成13年3月4日(日) 午後2時より
会場:教養講座室・企画展示室
講師:日高理恵子氏

日時:平成13年3月11日(日) 午後2時より
会場:企画展示室前ロビー・企画展示室
講師:光島貴之氏



ポスター-B2

インドネシア・スラウェシ島に渡った三彩
交趾焼展

会期◎平成13年1月5日(金)～3月25日(日)
会場◎古美術企画展示室



出品作品「大亀形合子」スラウェシ島産。

展覧料 常設展観覧無料

内容

ベトナム北部の「交趾」から伝わり、我が国の桃山時代の焼物や京焼にも影響を及ぼしたと考えられてきた交趾三彩は、茶の湯で主に書合などに使用されその独特の色合いや形状・希少性などにより、教育者間で高い評価を得てきた。本展では東南アジア陶磁の収集家として知られる本多弘氏の130点余りからなる交趾焼のコレクションから120点を選び、これまで歴史の経緯や状況などについては知られる機会が少なかった交趾三彩を広く紹介した。

出品点数 120点

印刷物 ポスター(B2)
チラシ(A4)
図録(A4変形・112頁)



ポスターB2

主催展開連記事

日本の美 笑い

西日本新聞(朝刊)	H.12.1.4	笑い 日本の美、笑い展/浮世絵、ひょうぶ絵…160点/神山、重信、妖怪など6テーマ
西日本新聞(朝刊)	H.12.3.30	日本の美 笑い展
西日本新聞(朝刊)	H.12.4.5	文化短信「日本の美 笑い展」講演会
西日本新聞(夕刊)	H.12.4.13	展覧会から「笑い輝いた180点」日本の美～笑い/21日から福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H.12.4.14	展覧会/英語講座おもしろ解説「日本の美・笑い」展/21日から福岡市美術館
西日本新聞(夕刊)	H.12.4.17	浮世絵やふすま絵など約180点/先人の遊び心がいっぱい「日本の美～笑い」/4月21日～5月14日、福岡市美術館
西日本新聞(夕刊)	H.12.4.17	知恵に誘われて(上)/日本の美 笑い展/「絵生動物録絵巻」(いのちものけろくえまき)/連日の妖怪の攻撃(扇根園文化振興課主任学芸員 的野克之)
西日本新聞(夕刊)	H.12.4.18	知恵に誘われて(中)/日本の美 笑い展/「七福神入浴図」/体も心も裸の神様(福岡市美術館学芸員 渡邊雄二)
西日本新聞(夕刊)	H.12.4.19	知恵に誘われて(下)/日本の美 笑い展/「熟番式」/湯島のご先祖様(福岡市美術館学芸員 渡邊雄二)
西日本新聞(朝刊)	H.12.4.19	「日本の美・笑い」展作品盛り付け始まる/福岡市美術館
西日本新聞(夕刊)	H.12.4.21	先人の知恵に「にやり」/「日本の美 笑い」展始まる
西日本新聞(朝刊)	H.12.4.26	「嘩」から「歎」へ/「笑い展」/「大妖怪展」…/敷居低く、入場者増やそう/福岡市内の公立美術館企画展
西日本新聞(夕刊)	H.12.4.27	こっけいな味わい再発見/「日本の美・笑い」展/国宝含む181点/来月14日まで、福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H.12.5.4	日本の美 笑い/血飲えるのも疲れるわ(福岡市博物館学芸員 中山真一郎)
西日本新聞(朝刊)	H.12.5.5	日本の美 笑い/泣きしめる女は水に(福岡アジア美術館学芸員 後小弥野弘)
西日本新聞(朝刊)	H.12.5.7	日本の美 笑い/飲えるのも疲れる(福岡市博物館学芸員 中山真一郎)
西日本新聞(朝刊)	H.12.5.8	日本の美 笑い/よくぞ捕らまえた(福岡県立美術館学芸員 川浪千鶴)
西日本新聞(朝刊)	H.12.5.9	「日本の美～笑い」展/よせて/制約のゆるゆる/日本美術の奥深さ示す(福岡市美術館学芸員 渡邊雄二)
西日本新聞(朝刊)	H.12.5.9	日本の美 笑い/笑ってはいけない(福岡市博物館学芸員 中山真一郎)
朝日新聞(朝刊)	H.12.5.13	美術/「見慣れぬもの」と遊ぶことこそ「笑い」展(福岡市美術館)「大妖怪展」(福岡県立美術館)(美術評論家 木方幹人)
西日本新聞(朝刊)	H.12.5.13	「日本の美・笑い」展あす開幕

北九州マガジンおいらの街 2000 アート/平成末期から江戸末期までの絵巻約180点から、日本美術の中の「笑い」を大いに楽しもう!!/No.267(平成12年3月27日号) 日本の美・笑い

北斎展

西日本新聞(朝刊)	H.12.6.23	富嶽三十六景など画業70年を網羅/北斎展/来月9日から福岡市美術館で
西日本新聞(夕刊)	H.12.6.27	北斎万華鏡1/原典 若き日支えたモチーフ
朝日新聞(朝刊)	H.12.6.28	新・再発見の作品も/北斎展-福岡市美術館(石田泰弘学芸員)
西日本新聞(夕刊)	H.12.6.28	北斎万華鏡2/直取 どん欲に新技法を吸収
西日本新聞(夕刊)	H.12.6.29	北斎万華鏡3/改号 波の高みを目指して
西日本新聞(夕刊)	H.12.6.29	浮世絵の巨壁に触れる/「北斎展」来月9日開幕/初公開の肉筆画など200点
西日本新聞(夕刊)	H.12.6.30	北斎万華鏡4/挿絵 物語の歴史にも足跡
西日本新聞(夕刊)	H.12.7.1	北斎万華鏡5/執念 百歳にして神妙ならん
西日本新聞(朝刊)	H.12.7.3	入場者 2万人目に日本の藤山さん/北斎展
西日本新聞(夕刊)	H.12.7.10	北斎展が開幕/福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H.12.7.21	春秋
西日本新聞(朝刊)	H.12.7.22	「常に新しいものに挑戦した」/北斎美術館長熱く魅力語る/福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H.12.7.25	北斎展に寄せて(東京、太田記念美術館副館長・学芸部長 永田生男)
西日本新聞(朝刊)	H.12.7.31	浮世絵語りを北斎展で実演/福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H.12.7.31	画業70年の名品を集めた「北斎展」/8月16日まで、福岡市美術館で開催中
西日本新聞(夕刊)	H.12.8.3	展覧会から/北斎展/肉筆画、挿絵など204点/16日まで福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H.12.8.8	題辭北斎の魅力1/婦女風俗図/挿で鮮やかな色使い(福岡市文化芸術振興財団事務局長 柴田裕子)
西日本新聞(夕刊)	H.12.8.8	世界に誇る浮世絵師の画業をたどる「北斎展」開催中/8月16日まで開催
西日本新聞(朝刊)	H.12.8.9	題辭北斎の魅力2/二般大根と大黒図/構図と筆の勢いの妙(二科会理事 長谷川隆三)
西日本新聞(朝刊)	H.12.8.10	題辭北斎の魅力3/山姥と金太郎/やんちゃ見守る母の姿(TNCアナウンサー 永谷裕香)
西日本新聞(朝刊)	H.12.8.11	3万人目の入場者田中さんに記念品/北斎展
西日本新聞(朝刊)	H.12.8.11	題辭北斎の魅力4/駿州江尻/安齋の扇繪に込めた(西南学院大生 世良嘉子)
西日本新聞(朝刊)	H.12.8.12	北斎の世紀末/39歳の「大転生」/西洋に漂い、広げた波紋
西日本新聞(朝刊)	H.12.8.12	題辭北斎の魅力5/北斎漫画/再確認した「老人力」(福岡市美術館学芸員 石田泰弘)

ポルドー美術展

西日本新聞(夕刊)	H.12.7.27	ドラクロワからピカソまで/ワインの町から豊かな美の香り/ポルドー美術展/来月22日から福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H.12.8.11	展覧会/ドラクロワからマチスまで名品107点を展示/ポルドー美術展22日から福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H.12.8.18	芳純そして詩情 ポルドー美術展から1/ロマン主義 新世界との出会い(文化部・塩田芳久)
西日本新聞(朝刊)	H.12.8.19	芳純そして詩情 ポルドー美術展から2/レアリスム 自然をそのままに(文化部・塩田芳久)
西日本新聞(朝刊)	H.12.8.20	芳純そして詩情 ポルドー美術展から3/新印象主義 科学の目で光輝く(文化部・塩田芳久)
西日本新聞(朝刊)	H.12.8.21	あすポルドー美術展開幕/福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H.12.8.21	芳純そして詩情 ポルドー美術展から4/象徴主義 幻想的な彩りを与え(文化部・塩田芳久)
西日本新聞(朝刊)	H.12.8.21	フランス近代美術の名品107点/ポルドー美術展/福岡市美術館で明日から開催
西日本新聞(朝刊)	H.12.8.22	芳純そして詩情 ポルドー美術展から5/フォービズム 世界凝縮した小品(文化部・塩田芳久)
西日本新聞(朝刊)	H.12.8.22	今日ポルドー美術展開幕/福岡市美術館
西日本新聞(夕刊)	H.12.8.22	うっとり美品107点/ポルドー美術展開幕/福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H.12.8.23	ポルドー美術展開幕
西日本新聞(夕刊)	H.12.8.24	展覧会から/「ポルドー美術展」ルノワールなど107点/10月1日まで福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H.12.8.25	懐極主/「ポルドー美術展」ルノワールなど107点/10月1日まで福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H.12.8.27	出品作品の魅力語る/ポルドー美術展/ピカソが記念講演
西日本新聞(朝刊)	H.12.8.29	「仏絵画をもっと楽しく」ポルドー美術展—/賞賛ポイントを解説/来月3日アクロス福岡
西日本新聞(朝刊)	H.12.9.1	展覧会/来月1日まで福岡市美術館 ポルドー美術展/記念バスカードやホテルサービス タイアップ事業も盛りだくさん
朝日新聞(夕刊)	H.12.9.2	美術/端正な作品群に逸脱の彩り/福岡市美術館「ポルドー美術展」(福岡市博物館学芸員 中山眞一郎)
西日本新聞(朝刊)	H.12.9.3	ポルドー美術展 入場者一万人突破
西日本新聞(朝刊)	H.12.9.7	ポルドー美術展 福岡市美術館/ドラクロワからピカソまで 芳純フランス美術
西日本新聞(朝刊)	H.12.9.8	ポルドー美術展にある19-20世紀フランス絵画の流れ/変換一望する多彩な作品群/未知の傑作発見の楽しさ(東京大学助教授 三浦 薫)
西日本スポーツ	H.12.9.8	フランス絵画の名品ぞろぞろ/話題のシャネルヴェクス作品/好評「ポルドー美術展」福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H.12.9.13	光満ちてポルドー 三人の画家を訪ねて(上)/「ルドンと見る」/神秘の世界に導く建築(文化部・塩田芳久)
西日本新聞(朝刊)	H.12.9.14	光満ちてポルドー 三人の画家を訪ねて(中)/「マルクと歩く」/「母なる川」はくまれ(文化部・塩田芳久)
西日本新聞(朝刊)	H.12.9.15	ポルドー美術展入場者2万人に
西日本新聞(朝刊)	H.12.9.15	光満ちてポルドー 三人の画家を訪ねて(下)/「ロートと学ぶ」/新しさを発見する視線(文化部・塩田芳久)
西日本新聞(朝刊)	H.12.9.16	ポルドー展に寄せて/自然と人間が融合したワイン(キャスター・エッセイスト・社団法人日本ソムリエ協会認定ワインアドバイザー 福島敦子)
西日本新聞(朝刊)	H.12.9.19	ポルドー美術展展覧会ガイド/アカテミズム
西日本新聞(朝刊)	H.12.9.21	ポルドー美術展展覧会ガイド/風景画の成立
西日本新聞(朝刊)	H.12.9.22	美しく色づく福岡の秋/ワインの街が醸し出す芸術の世界へ/「ポルドー美術展」10月1日(日)まで開催
西日本新聞(朝刊)	H.12.9.23	ポルドー美術展3万人突破
西日本新聞(朝刊)	H.12.9.23	ポルドー美術展展覧会ガイド/鋭敏な印象派
西日本新聞(朝刊)	H.12.9.26	あふれる詩情 ポルドー美術展から/再構築された美行(洋画家 岡田恒彦)
西日本新聞(朝刊)	H.12.9.27	あふれる詩情 ポルドー美術展から/「魂の形」見る精神の目(西南学院大学教授 中村栄子)
西日本新聞(朝刊)	H.12.9.28	あふれる詩情 ポルドー美術展から/「いつも染めた光景」(若田屋MD絵括部マネージャー シュールド・ニコラ)
西日本新聞(朝刊)	H.12.9.29	あふれる詩情 ポルドー美術展から/「いつもと違う雰囲気」(福岡市美術館学芸員 三谷理華)
西日本新聞(朝刊)	H.12.9.30	ポルドー美術展4万人突破
西日本新聞(朝刊)	H.12.9.30	あふれる詩情 ポルドー美術展から/「濃縮」を味わう好味(絵画修復家 森 直貴)

九州フーナー 2000 No.18(2009年8月29日号) アート情報/仏19世紀の絵画史を名作とともに振り返る/ポルドー美術展 8/22(火)~10/1(日)福岡市美術館

水晶の雫をさがして

西日本新聞(朝刊)	H.12.10.6	人の目に触れ共感を呼ぶ/水晶の雫をさがして 現代アートが聞く「私」の世界/あすから福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H.12.10.8	現代美術展開幕/福岡市美術館
読売新聞(夕刊)	H.12.10.16	福岡市美術館「水晶の雫をさがして」/「私」の世界映し出す現代アート展(人)
西日本新聞(朝刊)	H.12.10.25	「水晶の雫をさがして」開催よせて/熱狂を内に秘めるアーティストたち(福岡市美術館学芸員 山口洋三)
読売新聞(夕刊)	H.12.11.10	手帳/「現代アートが聞く「私」の世界」 平田氏の作品を再鑑賞/見過ごした空間に感動の世界/布面の中激高に輝く構築物(人)

星降り浮世絵名品と珠玉の絵画展

西日本新聞(夕刊)	H.12.12.28	彩華展/五代太田清藏コレクション「浮世絵名品と珠玉の絵画展」/1月5日から福岡市美術館/貴重な美術品を展示
西日本新聞(夕刊)	H.13.1.5	作家、広重+名品ぞろぞろ福岡市美術館で「浮世絵・絵画展」
西日本新聞(夕刊)	H.13.1.11	展覧会から/浮世絵名品と珠玉の絵画展/日本画含む204点/福岡市美術館
毎日新聞(朝刊)	H.13.1.12	世界に一枚写実の役者絵など展示/浮世絵名品と珠玉の絵画展/来月4日まで福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H.13.1.13	出番/五代太田清藏コレクション 浮世絵名品と珠玉の絵画展(2月4日まで、福岡市美術館)/平屋の看板娘・おせよ(年齢不詳)
西日本新聞(朝刊)	H.13.1.13	浮世絵展1万人突破
西日本新聞(夕刊)	H.13.1.16	いとおしき浮世絵 太田清藏コレクション展から(上)/「江戸近郊八景之内 羽柴田清藏/津川広重/うらさびしい秋の夕暮」
西日本新聞(夕刊)	H.13.1.17	いとおしき浮世絵 太田清藏コレクション展から(中)/「五人美人受替舞 丸屋花菱/喜多川歌麿/女性の美、知り尽くした表現」
西日本新聞(夕刊)	H.13.1.18	いとおしき浮世絵 太田清藏コレクション展から(下)/「雨の中の虎」豊後北斎/世界にただ1点の肉筆画
西日本新聞(朝刊)	H.13.1.23	「浮世絵名品展」の一部作品入れ替え
西日本新聞(朝刊)	H.13.1.23	「浮世絵名品展」から/見るにあきない空間(福岡大教授 中野三郎)
西日本新聞(夕刊)	H.13.1.24	風車/浮世絵(韓大郎)
西日本新聞(朝刊)	H.13.1.27	「浮世絵名品展」から/印象に残る色の強さ(フクオカ・ナウ編集長 ニック・サース)
西日本新聞(朝刊)	H.13.1.31	五代太田清藏が惚れた美/画家への情熱、蒐集で開花(太田記念美術館館長兼学芸部長 永田生悠)
西日本新聞(朝刊)	H.13.2.1	「浮世絵名品展」から/こんな女性にいつか(RKBアナウンサー 岡 佳奈)
西日本新聞(朝刊)	H.13.2.3	浮世絵展来場3万人を突破/あすまで
毎日新聞(夕刊)	H.13.2.23	フーリンは/RKB毎日放送番組審議会から/「浮世絵ゆめ桜〜太田清藏星降りコレクション」

月刊はかVol.145(平成12年12月号) この街から発信するアートたち 展覧会クローズアップ/星降り 五代太田清藏コレクション 浮世絵名品と珠玉の絵画展

第35回福岡市美術展

西日本新聞(朝刊)	H.13.3.2	福岡市美術展/八景司さん(中央区)に最高賞/大胆な構成、力強い評価
西日本新聞(朝刊)	H.13.3.3	福岡市美術展入場者
朝日新聞(朝刊)	H.13.3.3	第35回福岡市美術展/7部門に846点が入選/13~25日、市美術館で展示/日仏陸路都市賞 洋画の八景司さん
毎日新聞(朝刊)	H.13.3.3	福岡市美術展入賞者決まる/最高賞に八景司さん
読売新聞(朝刊)	H.13.3.4	福岡市美術展/賞格位置に八景司さん(洋画部門)/846点の入賞、入選決まる
毎日新聞(朝刊)	H.13.3.15	福岡市美術展/吉村さん、祖父江さん、小曾優さん、太宰府高から3人入賞(徳永 敬)
毎日新聞(夕刊)	H.13.3.28	福岡市美術展に吉田さん初入選/「オーロラ」輝く/カメラ教室の仲間8人も快挙

第2回21世紀の作家—福岡 泉野よう子展

西日本新聞(朝刊)	H.12.11.18	出展/第2回21世紀の作家—福岡(12月27日まで、福岡市美術館)
-----------	------------	-----------------------------------

てんびょう006号(Winter 2000) 泉野よう子/「美しい街」は日常を肯定できるか?(福岡市美術館学芸員 山口洋三)
月刊くろめ1262号(平成12年11月号) 自分の内面と向き合う空間へ.../第2回21世紀の作家—福岡「泉野よう子展—美しい街—」
季刊わ vol.7(平成13年1月号) 福岡の温度を上げるアーティストたち【1】/空間そのものが作品になる。気鋭の作家が提示する「美」の世界

流動する美術—Ⅷ 視覚を超えて、巡りて

西日本新聞(朝刊)	H.13.1.11	音や点字で楽しんで/全音の光島さんから作品展
毎日新聞(夕刊)	H.13.1.12	美術/「日高理恵子・光島貴之の絵画」展/視覚の自明性問う(米本浩二)
西日本新聞(朝刊)	H.13.2.6	東京都調布市の画家-日高理恵子さん
朝日新聞(夕刊)	H.13.2.15	美術/身体と記憶が導く「写実」/「視覚を超えて、巡りて」展/牛島孝之展(大西若人)
読売新聞(夕刊)	H.13.3.7	「見る」ことの意味を再考/視覚を超えて、巡りて—日高理恵子/光島貴之の絵画(人)

交趾焼展

西日本新聞(夕刊)	H.13.2.8	展覧会から/「交趾焼展」収集家所蔵の120点—福岡市美術館—
朝日新聞(夕刊)	H.13.2.10	交趾三彩を豊富に展示/福岡市美術館、常設展で企画

グループひまわり展

11月26日(水)～12月3日(日)
市民ギャラリーD
観覧料=無料/日数=6日/観覧者数=912人
油絵約70点。

九州かな書道協会展

12月5日(水)～12月10日(日)
特別展示室A
観覧料=無料/日数=6日/観覧者数=997人
かな作品(拓、隷、楷、行)約300点。

第11回MUSABI展

12月5日(水)～12月10日(日)
特別展示室B
観覧料=無料/日数=6日/観覧者数=1,133人
北九州美術大学校友会による絵画、彫刻、版画、工芸などの約60点。

サザンクロス 第8回グループ展

12月5日(水)～12月10日(日)
市民ギャラリーA
観覧料=無料/日数=6日/観覧者数=1,302人
写真(モノクロ、カラー)約60点。

第30回福岡市高齢者美術展

12月5日(水)～12月10日(日)
市民ギャラリーB-C
観覧料=無料/日数=6日/観覧者数=1,973人
絵画、書、写真、工芸などの約200点。

玄鶴会日本画展

12月5日(水)～12月10日(日)
市民ギャラリーD
観覧料=無料/日数=6日/観覧者数=1,556人
日本画(50号～150号)約30点。

第28回日本の書展、第26回西日本書美術展

12月12日(水)～12月17日(日)
特別展示室A-B
観覧料=一般 900円(400円)、高・大生以下無料
()内は割引料金
日数=6日/観覧者数=3,079人
現代日本の書(全道巡回)約100点、西日本書美術協会の選抜作品約1,200点。

レッシュクイナ展

12月12日(水)～12月17日(日)
市民ギャラリーA
観覧料=無料/日数=6日/観覧者数=548人
油絵、水彩などの約40点。

ふくおか社会保険センター水彩画教室展

12月12日(水)～12月17日(日)
市民ギャラリーB
観覧料=無料/日数=6日/観覧者数=730人
水彩画(10号～20号)約70点。

福岡大学芸術部 書心会創立40周年記念展

12月12日(水)～12月17日(日)
市民ギャラリーC
観覧料=無料/日数=6日/観覧者数=496人
2尺×6尺などの各サイズ、巻子、折帖、刺子、裏紙などの約80点。

第20回 南区美術展

12月12日(水)～12月17日(日)
市民ギャラリーD
観覧料=無料/日数=6日/観覧者数=1,066人
絵画、彫刻、書、工芸、写真、デザインなど市民の作品約100点。

第21回西日本書美術公開展

12月19日(水)～12月27日(水)
特別展示室A
観覧料=無料/日数=8日/観覧者数=2,316人
漢字、かな、近代詩文書など九州・山口各県の入賞作品約1,200点。

N548展

12月19日(水)～12月27日(水)
特別展示室B
観覧料=無料/日数=8日/観覧者数=699人
油絵、版画、インスタレーション、立体造形などの約35点。

花をみつめ花を遊ぶ―田村真知子展

12月19日(水)～12月27日(水)
市民ギャラリーA
観覧料=無料/日数=8日/観覧者数=602人
水彩、アクリル、コラージュによる花の作品、油絵、版画、インスタレーション、立体造形などの約25点。

第9回アジア同人展「アジアの風を求めて」

12月19日(水)～12月27日(水)
市民ギャラリーB
観覧料=無料/日数=8日/観覧者数=585人
油絵、水彩、仏画、写真などの約1,300点。

第23回福岡市道徳小学校校長作品展

12月19日(水)～12月27日(水)
市民ギャラリーC
観覧料=無料/日数=8日/観覧者数=752人
絵画、書、工芸、写真などの約100点。

庄屋なをと写真展「魅惑の森」Part V

12月19日(水)～12月27日(水)
市民ギャラリーD
観覧料=無料/日数=8日/観覧者数=852人
魅惑の森をモチーフにしたモノクローム半透明作品約60点。

■ 平成13年

日輝会九輝展

1月5日(金)～1月14日(日)
特別展示室B
観覧料=無料/日数=9日/観覧者数=4,434人
油絵、日本画、水墨画、写真、押花、染織などの約50点。

中島見展

1月5日(金)～1月14日(日)
市民ギャラリーA
観覧料=無料/日数=9日/観覧者数=1,096人
油絵約30点。

第2回アトリエ・パルレ展

1月5日(金)～1月14日(日)
市民ギャラリーB
観覧料=無料/日数=9日/観覧者数=1,088人
絵画教室会員による写実的な油絵、水彩などの約50点。

青湧展

1月5日(金)～1月14日(日)
市民ギャラリーC
観覧料=無料/日数=9日/観覧者数=934人
かな作品を中心に漢字、調和性による巻、パネル、書物、扇画などの約40点。

第13回つしの書道作品展

1月5日(金)～1月14日(日)
市民ギャラリーD
観覧料=無料/日数=9日/観覧者数=1,228人
短歌、俳句、詩などを題材にした漢字、かなの書作品約40点。

第14回慶幸書道展

1月16日(水)～1月21日(日)
特別展示室B
観覧料=無料/日数=6日/観覧者数=2,471人
中国の書家、王羲之の「蘭亭序」を基本とした墨色(漢字、短歌、俳句など)を色紙、短冊に表現する全国的に珍しい公開展、約2,000点。

日本国際美術家協会西日本支部展

1月16日(水)～1月21日(日)
市民ギャラリーA
観覧料=無料/日数=6日/観覧者数=541人
油絵、水墨画、日本画、木版、染織などの約40点。

「彩和会」[のそみ会]合同水彩画

1月16日(水)～1月21日(日)
市民ギャラリーB
観覧料=無料/日数=6日/観覧者数=787人
講師栗田和生氏の指導のもとに描かれた水彩をまとめた洋画約60点。

南たえ子展

1月16日(水)～1月21日(日)
市民ギャラリーC
観覧料=無料/日数=6日/観覧者数=365人
平面、半立体、小作品などの約25点。

天宮白雲庵生・生徒水墨画展

1月16日(水)～1月21日(日)
市民ギャラリーD
観覧料=無料/日数=6日/観覧者数=1,031人
研究会生徒約30名による水墨画と共に中国画家の作品も多数展示、約70点。

宮崎静夫展

1月23日(水)～2月4日(日)
特別展示室B
観覧料=無料/日数=12日/観覧者数=4,046人
神奈川県立近代美術館や熊本県立美術館に所蔵されている作品、ドラム缶「死者のために」シリーズなどの約40点。

第10回翠峰会

1月23日(水)～1月28日(日)
市民ギャラリーA
観覧料=無料/日数=6日/観覧者数=676人
教室および各サールの愛護生約100名での書道、水墨画などの約100点。

第25回西崎会書道展

1月23日(水)～1月28日(日)
市民ギャラリーB
観覧料=無料/日数=6日/観覧者数=911人
書、扇、巻、巻子、帖などの約50点。

蓬洲会書展

1月23日(水)～1月28日(日)
市民ギャラリーC
観覧料=無料/日数=6日/観覧者数=811人
各美術展の上位入賞作品とテーマ(席)を調和体とした作品などの約100点。

ものつくりてん

1月23日(水)～1月28日(日)
市民ギャラリーD
観覧料=無料/日数=6日/観覧者数=803人
ものを作ることの楽しさ、大切さを研究しながら2年間の集大成作品(立体)を展示、約15点。

信栄一作品展

1月30日(水)～2月4日(日)
市民ギャラリーA
観覧料=無料/日数=6日/観覧者数=913人
福岡美術協会芸術分科委員信栄一氏の油絵約30点。

飯塚カトリック幼稚園パッチワークサークル展

1月30日(水)～2月4日(日)
市民ギャラリーB
観覧料=無料/日数=6日/観覧者数=1,364人
父母の会の活動として、35名の作品、クベストリー、ペットカ/パ、パッチ約100点。

第23回玄友会小品書道展

1月30日(水)～2月4日(日)
市民ギャラリーC
観覧料=無料/日数=6日/観覧者数=985人
小冊を中心にテーマを設け、全員が出品する小品展約100点。

平成12年度福岡市中学校生徒書道作品展

1月30日(水)～2月4日(日)
市民ギャラリーD
観覧料=無料/日数=6日/観覧者数=1,114人
市内中学校約50校の書道作品約500点。

九州書道会

2月6日(水)～2月12日(日)
市民ギャラリーA
観覧料=無料/日数=7日/観覧者数=1,000人
会員30名による書道(漢字)作品約30点。

平成12年度第26回九州産業大学大学院

芸術研究科修了制作展
2月6日(水)～2月12日(日)
市民ギャラリーB-C
観覧料=無料/日数=7日/観覧者数=2,237人
芸術専攻の絵画、彫刻、工芸、デザイン、写真など各コースによる修了制作作品、約66点。

写道「みらい」第二回写真展

2月6日(水)～2月12日(日)
市民ギャラリーD
観覧料=無料/日数=7日/観覧者数=1,611人
「みらい」をテーマに福岡のアマチュア写真家14名が制作発表、約40点。

平成12年度第32回九州産業大学

芸術学部卒業制作展
2月8日(金)～2月12日(日)
特別展示室A-B
観覧料=無料/日数=5日/観覧者数=4,069人
美術学科の絵画、造形、写真、デザインなど卒業制作展として発表、約1,400点。

第54回二紀展

2月14日(水)～2月18日(日)
特別展示室A-B
観覧料=一般 600円(700円)、高・大生 600円(500円)
小・中生 200円(100円) ()内は割引料金
日数=5日/観覧者数=2,421人
平成12年に開催された東京展の選抜作品と地元入賞作品(絵画、彫刻)約150点。

第一回つくしり花壇倶楽部合同作品展

2月14日(水)～2月18日(日)
市民ギャラリーA
観覧料=無料/日数=5日/観覧者数=1,111人
福岡在住の花壇愛好家(約100名)の作品約100点。

群衆会招待展

2月14日(水)～2月18日(日)
市民ギャラリーB
観覧料=無料/日数=5日/観覧者数=1,136人
油絵を中心に水彩画、版画などの約50点。

専門学校日本デザイナー学院卒業制作作品展

2月14日(水)～2月18日(日)
市民ギャラリーD
観覧料=無料/日数=5日/観覧者数=771人
グラフィック、インテリア各デザイン卒業制作作品、パッチ約170点、模型約25点。

第85回二紀展

2月20日(水)～2月25日(日)
特別展示室A、B、市民ギャラリーA、B、C、D
観覧料=一般 800円(600円)、高・大生 500円(300円)
小・中生無料 ()内は割引料金
日数=6日/観覧者数=7,399人
平成12年に開催された東京展の選抜作品と地元関係入賞作品、絵画、彫刻、デザイン、写真などの約450点。

第68回独立展

2月27日(水)～3月4日(日)
特別展示室A、B
観覧料=一般 800円(700円)、高・大生 600円(500円)
小・中生 200円(100円) ()内は割引料金
日数=6日/観覧者数=1,437人
平成12年に開催された東京展の選抜作品と地元関係入賞作品、油絵、水彩などの約170点。

第50回福岡市中学校美術展

2月27日(水)～3月4日(日)
市民ギャラリーA、B、C、D
観覧料=無料/日数=6日/観覧者数=4,194人
市内中学校約75校の絵画、デザイン、彫刻、工芸、陶芸、平面、立体作品などの約4,000点。

自由美術展

3月6日(水)～3月11日(日)
特別展示室A
観覧料=一般 700円(500円)、高・大生 500円(300円)
小・中生 無料 ()内は割引料金
日数=6日/観覧者数=415人
東京展から選ばれた作品と地元関係入賞作品など、平均約130点、立体約10点。

第7回マヤ展

3月6日(水)～3月11日(日)
特別展示室B
観覧料=無料/日数=6日/観覧者数=485人
オプジェによるインスタレーション作品を版画、版画に展示。

第7回福岡市書道協会展

3月6日(水)～3月11日(日)
市民ギャラリーA、B、C、D
観覧料=無料/日数=6日/観覧者数=1,490人
書、漢字、かな、近代詩文書、彫刻などの約300点。

第32回日展

3月30日(金)～4月15日(日)
特別展示室A、B、市民ギャラリーA、B、C、D
観覧料=一般 1,100円(800円)、高・大生 700円(500円)
小・中生 400円(300円) ()内は割引料金
日数=15日/観覧者数=21,276人
平成12年に開催された東京展の選抜作品と地元関係入賞作品、洋画、日本画、彫刻、工芸、書、約450点。

特別企画展観覧者数

展覧会名	個人			団体 <small>(団体の中には老人等も含まれる)</small>			招待	合計
	一般	高・大生	小・中生	一般	高・大生	小・中生		
日本の美 笑い	6026	350	248	1,262	6	0	3,095	10,989
北斎展	27,063	2,811	2,424	3,390	175	412	6,732	45,007
ポルドー美術館展	31,972	2,129	1,549	3,383	530	428	7,199	47,190
水島の塔をさがして	1,244	301	57	73	76	42	1,751	3,544
第35回福岡市美術展	3,880	184	—	—	—	—	3,577	7,641
聖徳太子世絵名品と珠玉の絵画展	—	—	—	—	—	—	—	35,700

常設展年間観覧者数

個人	高・大生	小・中生	団体			学校	老人等	合計
			一般	高・大生	小・中生			
25,120	2,046	990	1,508	773	3,045	3,516	4,586	41,584

注) 老人等とは、福岡市美術館条例に基づき観覧料の免除を受けた、市内居住の65歳以上の若おひ身障者

年度別観覧者数

年度	開催日数	常設展 観覧者数	特別企画展 開催数(回)	観覧者数(人)	貸展 開催数(回)	観覧者数(人)	総計 開催数(回)	観覧者数(人)
54	94	70,234	1	86,194	18	128,642	19	285,070
55	306	127,584	3	45,666	91	467,240	94	640,490
56	307	99,287	5	35,372	139	686,602	144	821,261
57	306	93,883	3	24,453	161	563,586	164	681,922
58	307	96,723	3	137,402	183	592,022	186	826,147
59	306	105,537	3	68,172	176	721,050	179	894,759
60	305	102,115	2	116,531	171	781,973	173	1,000,619
61	306	97,962	4	147,682	184	608,150	188	853,794
62	308	96,088	3	73,478	215	609,570	218	779,136
63	306	95,550	3	77,223	207	611,398	210	784,171
1	306	94,044	2	121,795	174	437,776	176	653,615
2	306	91,584	3	64,216	216	526,516	219	682,316
3	306	88,929	4	134,771	216	491,771	220	715,471
4	307	102,301	5	103,004	235	565,751	240	771,056
5	306	81,142	3	87,242	225	565,280	228	733,664
6	248	61,022	1	23,192	147	538,275	148	622,489
7	307	68,221	3	136,406	209	500,231	212	704,858
8	305	79,077	3	65,171	206	422,735	209	566,983
9	304	63,976	4	290,151	207	464,723	211	818,850
10	306	67,859	4	62,981	189	439,040	193	569,880
11	307	58,030	4	284,403	212	451,619	216	794,052
12	305	41,584	4	106,730	204	341,378	208	489,692
累計	6,464	1,882,732	70	2,292,235	3,985	11,515,328	4,055	15,690,295

注) 12年度の「特別企画展」には「第35回福岡市美術展」および「聖徳太子世絵名品と珠玉の絵画展」の観覧者数は含まれておりません。

アートアドベンチャー

こどもたちと美術とのよりよい出会いの場を提供することを目的に、当館では平成9年度より「アートアドベンチャー」事業を展開している。これは、市内の小・中学校を中心に、学校と連携し、児童・生徒たちが美術館を利用できる機会を備やすとともに、こどもたちに、より深く美術を味わってもらおうというもの。現在のところ、近郊の小・中学校を対象に、ワークショップやギャラリートークを行っている。

福岡市内小・中学校を対象としたギャラリートーク

教師との事前打ち合わせに則して、解説ボランティアによるギャラリートークを行った。平成12年度は以下の日程で、計14校を対象に行った。

平成12年	5月2日(火)	市立豊前小学校5年生	84人	引率 3人
	6月13日(水)	私立豊前小学校6年生	117人	引率 5人
	9月19日(日)	市立東元小学校6年生	61人	引率 3人
	9月26日(日)	市立豊前小学校6年生	108人	引率 4人
	11月10日(水)	市立北橋中学校生徒会	38人	引率11人
	11月30日(日)	市立馬出小学校5年生	43人	引率 3人
平成13年	1月30日(火)	私立豊前小学校5年生	111人	引率 5人
		市立豊々江小学校6年生	38人	引率 2人
	1月31日(水)	市立豊々江小学校6年生	37人	引率 2人
	2月2日(日)	市立福岡中学校1年生	37人	引率 6人
	2月3日(日)	市立赤坂小学校6年生	59人	引率 3人
	2月7日(木)	市立豊々江小学校6年生	38人	引率 2人
		市立西浜小学校5年生	161人	引率 5人
	3月2日(土)	市立花畑中学校生徒会	231人	引率12人
	3月8日(木)	市立南宮小学校6年生	101人	引率 3人
	3月9日(金)	私立筑前中学校1年生	56人	引率 2人
	3月13日(火)	フクオカインターナショナルスクール小中生	45人	引率 3人

第2回21世紀の作家—福岡 泉野よう子展 ギャラリートーク

日時 ———— 平成12年12月14日(水) 16:30頃～17:30
 参加者 ———— 市立筑前中学校1～3年生、
 市立豊前中学校1～3年生 約20名
 ギャラリートーク講師— 泉野よう子氏

内容: 2層企画展示室で開催した「第2回21世紀の作家—福岡 泉野よう子展」の展示作品について、作家自らが、中学生に向かって語る、という企画。作家本人が作品について語ることににより、中学生たちに作品へのより深い鑑賞を促すことができた。



夏休みこども美術館

夏休みこども美術館2000

「古美術ワンダーランド～楽しさいっぱいむかしの絵」

夏休みこども美術館は、平成2年度からはじまる、夏休み期間中のこどものための展覧会などの事業。平成12年度は古美術作品を展示。こどもたちが楽しみやすいよう、「古美術の決まり事」についての知識がなくても鑑賞できそうな花鳥画を中心に展示を行った。

展示

会期 ———— 平成12年7月18日(水)～9月3日(日)
 会場 ———— 古美術企画展示室
 出品作品

- 《猿蓑図》森垣仙
- 《猿蓑捕月図》雪村周麟
- 《猿図》仙居義梵
- 《龍門登龍図》円山応挙
- 《虎図屏風》李朝時代
- 《竹虎図》狩野安信
- 《花卉草蟲図巻》宋時代
- 《阿闍陀結駝》宋葉山
- 《百鳥図》室町時代
- 《竹鶴・若松図屏風》円山応挙
- 《松小禽・柳白鷺図》狩野常信
- 《花鳥蝶羅漢金盒子》元時代



ギャラリートーク風景

ガイドブック

古美術企画展示室の展示にともない、鑑賞の補助のためのこども向けガイドブック「古美術ワンダーランド～楽しさいっぱいむかしの絵」をもっと楽しく見るための本を小・中学生に無料配布した。内容は、こどもたちが楽しみやすいよう、「美術館」という名のおいしいさんが作品について簡単に語るという形式をとった。



ワークショップ

日時 ——— 平成12年8月5日(土)、6日(日)
 いずれも10:00~16:00まで

会場 ——— 教養講座室、実技講座室および日本庭園

参加者 ——— 市内在住の小学5年生~中学3年生 18名

講師 ——— 絵画指導 日本画家 實島秀深氏
 表装指導 表貝師 半田達二氏
 点茶指導 表千家 不白流
 吉井洋子(宗雅)、岩崎小夜子(宗彩)
 坂田真美子(宗悠)、福田薫(宗水)各氏

ギャラリートーク講師 — 学芸課 鬼本佳代子
 ボランティアスタッフ 青野寿子、角泉子、尾井早苗、田中壽子、仲上文子
 実習生 ——— 赤迫現、濱田友紀

内容:こどもたちに、古美術作品に親しみをもち、かつさまざまな方向から理解を深めてもらうことを目的に、日本の伝統的な技法で絵画制作、お茶会の席での絵画鑑賞、表装のデモンストレーションをするなど、実践的な古美術へのアプローチを行った。

経過 ——— 8月5日(土)
 午前:展示室でギャラリートークを行い、その後、日本画の描き方についての解説をする。
 午後:日本画の制作。

8月6日(日)
 午前:日本庭園でお茶会を行う。
 午後:表装の実演および表装についての講義。
 その後、展示室でのギャラリートーク。



講座

第3回 所蔵品によるアートセミナー
 [富田漢仙と近代日本画]

日時 ——— 平成13年2月17日(土)、2月24日(土)、
 3月3日(土)、3月10日(土)、3月17日(土)
 いずれも13:30より

会場 ——— 教養講座室

受講生 — 30名(福岡市に在住あるいは勤務する方)

講師 ——— 福岡大学人文学部教授 古川智次氏

内容:福岡市出身の日本画家富田漢仙(1879~1936)の画業を辿りながら、近代日本画の流れについても併せて講義を受け、福岡市美術館の所蔵する漢仙の作品や関連作品をおよそ時代順に鑑賞した。



アトリエ
 親子版画教室[冬の風の中で~自然をテーマに木版画にチャレンジ]

日時 ——— 平成13年1月7日(日)、8日(月)
 いずれも10:00より

会場 ——— 実技講座室および版画印刷工房

参加者 ——— 親子13組(28名)

講師 ——— 福岡女学院高等学校教諭 互田 勝氏
 福岡女学院非常勤講師 井上利子氏

内容:[風]をテーマに、親子で抽象的な木版画を制作。

経過 ——— 1月7日(日)
 午前:大濠公園で風のスケッチを行い、その後大濠公園で拍った葉っぱの枝を使って版画作品を制作。
 午後:できあがった版画作品に着色する。

1月8日(月)
 前日のスケッチをもとに、「風」をテーマにした木版画を制作。



講演会

日本美術の楽しみかた(『日本の美 美しい国』)
 日時 ——— 平成12年4月22日(土) 14:00より
 会場 ——— 講堂
 講師 ——— 京大文学部教授 柳田 泉氏
 聴講者数 — 172人

北斎の芸術(『北斎展』)
 日時 ——— 平成12年7月20日(土) 14:00より
 会場 ——— 講堂
 講師 ——— 北斎研究会 永田圭子氏
 聴講者数 — 206人

フランス美術史の二世紀にわたる入門の旗(『ホルドー美術鑑賞』)
 日時 ——— 平成12年8月26日(土) 14:00より
 会場 ——— 講堂
 講師 ——— ホルドー美術館教育普及担当 阿ニエス・ヒロ氏
 通訳 ——— 津田真子氏
 聴講者数 — 182人

フランス近代絵画の魅力
 『ホルドーのコレクションをめぐって』(『ホルドー美術鑑賞』)
 日時 ——— 平成12年9月15日(土) 14:00より
 会場 ——— 講堂
 講師 ——— 東京大学助教授 三浦 薫氏
 聴講者数 — 200人

アーティスト・トーク(『第2回21世紀の作家—福岡— 栗野よう子展』)
 日時 ——— 平成12年10月14日(土) 14:00より
 会場 ——— 教養講座室
 講師 ——— 栗野よう子氏
 聴講者数 — 50人

大森裕美子のお話(『いいもののおはなし』)
 日時 ——— 平成12年10月21日(土) 14:00より
 会場 ——— 教養講座室
 講師 ——— 大森裕美子氏
 聴講者数 — 30人

小林健二スペシャルトーク『見えぬものを見るチカラ』(『水島の巻をさがして』)
 日時 ——— 平成12年10月29日(日) 14:00より
 会場 ——— 講堂
 講師 ——— 小林健二氏
 聴講者数 — 180人

中世博多と茶の美 / 博多の黄金の日々と茶の湯
 (『博多21周年記念講演会およびシンポジウム』)
 日時 ——— 平成12年11月3日(土) 13:30より
 会場 ——— 講堂
 講師 ——— 国立民族学博物館教授 梶倉功夫氏
 パスラー ——— 福岡大学名誉教授 武野燾子氏
 司会 ——— 福岡市美術館学芸員 渡邊雄二
 聴講者数 — 245人

平田五郎スライド&トーク『私が風の家をつくるわけ』(『水島の巻をさがして』)
 日時 ——— 平成12年11月5日(日) 14:00より
 会場 ——— 教養講座室
 講師 ——— 平田五郎氏
 聴講者数 — 90人

フランス美術史講座
 公共空間における「アート」
 日時 ——— 12月10日(日) 14:00より
 会場 ——— 講堂
 講師 ——— パリ・アートプレス誌編集長 カトリーヌ・エ氏
 通訳 ——— 菊池聡子氏
 聴講者数 — 122人



フランス美術史講座「公共空間における「アート」」

20世紀アメリカン・アート

日時 ——— 平成13年1月21日(日) 14:00より
 会場 ——— 講堂
 講師 ——— ニューヨーク州立大学大学院美術史教授 グイル・レヴィン氏
 通訳 ——— 古山貴紀子氏
 聴講者数 — 143人

アーティスト・トーク(『激動する美術—19 視覚を超えて—』)
 日時 ——— 平成13年3月4日(日) 14:00より
 会場 ——— 教養講座室、企画展示室
 講師 ——— 日高博子氏
 聴講者数 — 30人

アーティスト・トーク(『激動する美術—19 視覚を超えて—』)
 日時 ——— 平成13年3月11日(日) 14:00より
 会場 ——— 企画展示室前ロビーおよび展示室内
 講師 ——— 丸島真之氏
 聴講者数 — 40人

パフォーマンス
 佐々藤子+原田伸雄(『舞踏青龍會』)パフォーマンス
 (『水島の巻をさがして』)
 日時 ——— 平成12年10月7日(土) 13:00より
 会場 ——— 特設展示室 A
 出演 ——— 佐々藤子氏
 舞踏家 原田伸雄氏
 聴講者数 — 50人



20世紀アメリカン・アート

読書企画

読書室の一角に当館開催の展覧会等に関する資料の特集を行い、来館者に美術に関する知識や興味をより深めてもらえるような資料を通しての普及啓蒙活動を行う。

1. 常設展関連図書特集

常設展示室での各展示関連

2. 特別展関連図書特集

- ・平成12年4月18日(火)～5月14日(日) 「日本の美 笑い」展関連
- ・平成12年7月4日(火)～8月16日(水) 「北斎展」関連
- ・平成12年8月22日(火)～10月1日(日) 「ポルドー美術展」関連
- ・平成12年10月3日(火)～11月5日(日) 「水島の塔をさがして」展関連

3. 読書室企画図書特集

夏休み子どもとしょかん

会期＝平成12年7月18日(火)～8月27日(日)

内容＝夏休み子ども美術館2000「古美術ワンダーランドへ楽しさいっぱいむかし絵」の開催に準じ、古美術をテーマに子ども向けに書かれた美術書を20冊特集した。ここで特集した本のリストは同展のガイドブックの巻末に記載した。



夏休み子どもとしょかんの紹介図表

美術をめぐる冒険 Part 6
美術コレクターの世界を読む

会期＝平成13年1月5日(金)～3月25日(日)

内容＝来館者に興味をほらすに楽しく、美術についての理解や知識を深めてもらえるような本を特集するシリーズの第6回目。今回は「美術コレクター」に焦点をあてた本を紹介。読み物としての面白さを味わいながらコレクターの人物像やそのコレクション作品にも興味を持てるような本を30冊特集した。また、この特集をより深く理解してもらうために、参考資料として特集した本の解説を記載したリーフレットを作成し無料配布した。



リーフレット

博物館実習

学芸員資格のための博物館実習について、実習希望の学生を受け入れ、本年度は平成12年5月15日から同11月30日までの期間に必要日数の実習を行った。

■福岡大学 (2週間)

水上雅子 人文学部 文化学科
水口高子 人文学部 文化学科

■九州産業大学 (2週間)

為国なおみ 芸術学部 美術学科
堀之内 亮 芸術学部 美術学科
藤岡園美 芸術学部 写真学科

■西南学院大学 (2週間)

赤道 規 文学部 児童教育学科
清田 友紀 文学部 国際文化学科
世良 薫子 文学部 国際文化学科
以上8名

ボランティア活動

ボランティアについて

当館では、昭和51年にボランティアを募集し、昭和54年の美術館開館と同時に活動を開始した。新聞スクラップから始まったボランティア活動は、現在では、作品解説、資料整理という二つのセクションに分かれ、美術館の活動を支える重要な柱の一つとなっている。

作品解説

当館の常設展示を来館者の方々に解説することを目的に、昭和59年に始まった。現在は、一般の来館者のみならず、美術の授業などで訪れた小・中学生へのギャラリートークにも力を入れている。また、学芸員が計画したワークショップの補助を行うなど活動の幅も広がってきている。

活動記録(なお、福岡市内小・中学生への解説については、アートアドバイザーを要すること)
平成12年

5月31日(木)	福岡市立東方中学校3年生(長崎県)	36人	引率3人
6月3日(日)	大分地域学習センター(放送大学)会員(大分県)	35人	引率3人
8日(日)	福岡市立赤坂幼稚園児	60人	引率7人
14日(日)	春日市立大谷小学校 PTA 会員(福岡県)	30人	
20日(日)	福岡市立笠原小学校 PTA 会員	約50人	
8月5日(日)	夏休み子ども美術館ワークショップ補助		
6日(日)	夏休み子ども美術館ワークショップ補助		
9月14日(日)	フアッセツト・ツアー会員(フランス)	14人	
10月14日(日)	三和町教育委員会ふれあいセンター職員(長崎県)	20人	
15日(日)	福岡市立徳島中学校 PTA 会員(佐賀県)	27人	
17日(日)	キリン幼稚園児(福岡県)	102人	引率5人
22日(日)	広善徳用金庫役員会会員(広島県)	17人	
27日(日)	宇美町中央公民館活動女性セミナー会員(福岡県)	34人	
11月1日(日)	英田町立東原小学校 PTA 会員(福岡県)	45人	
	正法寺保育園児(福岡市)	31人	引率4人
2日(日)	正法寺保育園児(福岡市)	49人	引率6人
8日(日)	福岡市立緑ヶ丘小学校6年生(長崎県)	22人	引率4人
10日(日)	新宮町立新宮小学校6年生(福岡県)	87人	引率5人
23日(日)	日田市三花公民館視察研修参加者(大分県)	約20人	
12月1日(日)	岡村あおぞら高齢者福祉分譲会員(福岡市)	約40人	
13日(日)	千葉県立舞鶴総合高校生	40人	引率2人
19日(日)	福岡市立赤坂幼稚園児	約90人	引率6人
21日(日)	福岡市職員研修所職員	27人	引率3人

平成13年

2月20日(日)	福岡県立福岡高等学校生活科生徒	11人	引率11人
3月18日(日)	博覧博覧者友対協会博覧博覧者(福岡市)	約15人	
25日(日)	鶴崎高等学校総合部員(大分県)	40人	



資料整理

(図書)

基本的に火曜日から土曜日までの各曜日午前と午後の班に分かれ、資料整理業務に関する作業を行う。

作業内容

- 当館所蔵作品および当館施設案内記事の掲載誌整理作業
当館所蔵雑誌の一部から当館の所蔵作品および施設についての記事を採り出し、その索引を作成する。
- 情報誌整理
タウン情報誌に掲載されている美術関係の記事内容の種別をする。
- 広報誌整理作業
急ぎ発行の広報誌を組む作業および広報誌を組むべくファイルを作成する。
- 分類ラベル作成および添付作業
図書資料用の分類ラベルに該当する分類を書き込み、そのラベルを資料に添付する。
- パンフレット資料整理作業
作家や美術館・博物館に関するパンフレット資料への受付印の押印、資料保存用の袋および検出用カードを作成する。
- 目録カード整理作業
目録カードに種目を記載する。

図書部会開催

期日＝平成12年4月8日(土)

会場＝教員講座室
参加者数＝12名
内容＝分類ラベル作成および添付作業手順の説明
意見交換

期日＝平成13年2月10日(土)

会場＝会議室 8他
参加者数＝12名
内容＝各班ごとの作業進捗状況についての報告
意見交換
懇話会



(新聞)

作業日＝基本的に日曜日・金曜日を除く毎日、曜日毎に担当する新聞を決め、新聞の切り抜きおよび作業を行う。

月曜日：毎日新聞
火曜日：読売新聞
水曜日：西日本新聞
木曜日：朝日新聞
土曜日：日経新聞



月1回共同作業日を設け、各グループ間での情報交換・意志の統一を図る。また、展覧会見学や美術に関するビデオの鑑賞会を行う。また、共同作業日は半年毎に曜日を変えらることにする。

活動記録

平成12年	4月3日(日)	資料委員(アーティスト)のビデオを鑑賞、感想を話し合う。	参加8名
	5月1日(日)	共同作業 過去の未ファイル記事の整理ほか	参加8名
	6月5日(日)	共同作業 ボランティア博覧会に関するミーティング 過去の未ファイル記事の整理	参加14名
	7月5日(日)	共同作業 80年代の未ファイル記事のファイリングほか	参加9名
	8月2日(日)	共同作業 80年代の未ファイル記事のファイリングほか	参加10名
	9月6日(日)	共同作業 80年代の未ファイル記事のファイリングほか	参加9名
	10月4日(日)	共同作業 94年の未ファイル記事のファイリングほか	参加6名
	11月1日(日)	「水島の塔をさがして」見学および感想を話し合う。 小冊子(出品作業)のビデオ鑑賞。	参加8名
	12月6日(日)	共同作業 情報誌整理ほか	参加7名
平成13年	1月11日(日)	共同作業 2001年の目標などについて話し合う	参加15名
	2月1日(日)	共同作業 今後の作業手順についての話し合い 活動する美術-VG「複製を越えて」で「真見学」 解説 宇野 倫典 解説	参加8名
	3月1日(日)	共同作業 過去のファイルの種別	参加9名

講座・講演会名	期日	講師	主催	参加者数(人)
第34回福岡市美術展表彰式	平成12年 4月1日(土)		福岡市美術展運営委員会	131
福岡市中学校美術教育研究会総会	4月19日(金)		福岡市教育委員会	63
日本美術の楽しみ方 <small>(日本の美・美し・美意識)</small>	4月22日(土)	群馬県立女子大学教授 神原 悟	(財)日本美術協会 実行委員会	172
第18回上野の森美術館大賞展美術講演会	5月30日(火)		(財)日本美術協会 上野の森美術館	215
北斎の芸術 <small>(北斎展)関連</small>	7月20日(水)	北斎研究会 永田生恵	北斎展実行委員会	206
第22回朝日学生書道展表彰式	7月25日(火)		朝日新聞社	200
第14回日洋展講演会 「風景を考える」「新しい具象絵画の可能性」	8月22日(水)	九州造形短大 谷口治洋 日洋会会長 日野耕之祐	日洋会	60
フランス美術史の二世紀にわたる入門の扉 <small>(ホルドール展)関連</small>	8月26日(土)	ホルドール美術館教育普及担当 アニエス・ピロ	ホルドール美術館実行委員会	182
第1回福岡二科公募展公開審査	9月3日(日)		二科会写真部福岡支部	350
フランス近代絵画の魁カ・ホルドールのコレクションをめぐって <small>(ホルドール展)関連</small>	9月15日(木)	東京大学助教授 三浦 真	ホルドール美術館実行委員会	200
2000年JPS九州展スライドショー 「アジアを知る」と日本が見える」	9月23日(土)		2000年JPS実行委員会	150
写真シンポジウム「視点25部・写真は時代を拓く」	10月15日(日)		日本リアリズム写真集団福岡支部	250
小林健二スペシャルトーク「見えないものを語るカラ」 <small>(日本美術の楽しみ方)関連</small>	10月29日(日)	小林健二	「水晶の雫をさがして」実行委員会	180
中世博多と茶の美/博多の黄金の日々と茶の道 <small>(博多21世紀国際芸術祭)ホスピタリティ</small>	11月3日(土)	国立民族学博物館教授 熊倉功夫 福岡大学名誉教授 武野聖子 福岡市美術館学芸員 渡邊雄二	NHK福岡放送局 福岡市美術館	245
第16回城南区市民アート展表彰式	11月5日(日)		城南区振興課	100
福岡大学映画研究会上映会	11月18日(土)		福岡大学学術文化情報学研究会	100
第52回毎日書道展講演会	11月21日(火)		毎日新聞西部本社	200
福岡シネマクラブフェスティバル	11月23日(木) 24日(金)		福岡シネマクラブフェスティバル 実行委員会	81 39
ホルテックス美術講演会	11月26日(日)	実践女子大学教授 黒田紀夫	(株)ホルテックス	100
2000年度FCC審査会	12月1日(金) 2日(土)		福岡コピーライターズクラブ	25 70
東風 第2回上映会 16mm 自主映画「魚のなる木」上映	12月3日(日)		東風	69
フランス美術史講座 公共空間における「アート」	12月10日(日)	パリ・アートプレス誌編集長 カトリーヌ・ミエ	日本経済新聞社 フランス大使館 福岡市美術館	122
西日本書美術公募展表彰式	12月23日(土)		西日本書美術協会	100
平成13年				
第14回慶幸書道展表彰式	1月20日(土)		朝日カルチャーセンター・慶幸書道展事務局	245
20世紀アメリカン・アート	1月21日(日)	ニューヨーク市立大学大学院美術史教授 ゲイル・レヴィン	福岡アメリカンセンター 福岡市美術館	143
九州産業大学卒業制作関連事業「映像無差別版」	2月10日(土)		九州産業大学	80
第7回福岡市書道協会展講演会	3月11日(日)		福岡市書道協会	130
第35回福岡市美術展表彰式	3月18日(日)		福岡市美術展運営委員会	130

(講師敬称略)

教養講座室

講座・講演会名	期日	講師	主催	参加者数(人)
平成12年				
創元会例会	4月16日(日)		創元会	48
FMFシネマテークvol. 12	4月23日(日)		フィルム・メーカーズ・ フィールド	79
パーソナルフォーカス2000			太平洋美術会西日本支部	69
太平洋美術会準備会	4月29日(土)		福岡市美術館	13
ボランティア部会(図書)	4月8日(土)		ひ・はく読書の会	9
美術館・博物館司書研修「公共図書館の現状について」	4月10日(日)	太宰府市民図書館司書 藤井孝代	福岡市中学校美術教育研究会美術部顧問者会	30
福岡市中学校美術教育研究会(学校代表者会)	5月2日(火)		福岡市中学校美術教育研究会	23
福岡写真研究会定期総会	5月14日(日)		福岡写真研究会	40
三軌会九州支部懇談会	5月27日(土)		三軌会写真部	18
図工研6月例会(図工！すてきでか！)	6月3日(土)		福岡市小学校図工工作教育研究会	40
創元会例会	6月4日(日)		創元会	46
第35回太平洋西日本公募展表彰式	6月6日(火)		(社)太平洋美術会西日本支部	60
福岡市中学校美術教育研究会(全市学校代表者会)	6月7日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	37
造形教育九州学会例会	6月18日(日)		造形教育九州学会	11
福岡市中学校美術教育研究会常任委員会	6月22日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	12
図工研7月例会(こどもの絵を動かあもつてみる指導のポイント)	7月1日(土)		福岡市小学校図工工作教育研究会	45
写真専門部顧問会議	7月5日(水)		福岡写真連	50
福岡市中学校美術教育研究会常任委員会	7月12日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	13
総合的な学習	7月13日(木)		舞鶴中学校	19
夏休み子ども美術館「古美術ワンダーランド」	7月22日(土)		日洋会福岡	13
美しさいっぱい(むかし)の絵/ワークショップ	8月5日(土)	日本画家 豊島秀深	福岡市美術館	18
創元会総会	8月6日(日)		創元会	43
福岡市中学校美術教育研究会大会打ち合わせ	8月11日(金)		福岡市中学校美術教育研究会	8
福岡市中学校美術教育研究会研究部会	8月30日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	9
西遊勉強会「かな書道-古典と創作について」	9月7日(木)		藤葉会	32
福岡市中学校美術教育研究会常任委員会	9月13日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	13
図工研9月例会(豊かな心を育てる図書工作の授業)	9月16日(土)		福岡市小学校図工工作教育研究会	20
福岡市中学校美術教育研究会大会係分掌会	9月20日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	45
福岡市中学校美術教育研究会常任委員会	9月27日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	12
福岡吉祥会研修会	10月1日(日)	会長 財津永次	福岡吉祥会	62
第2回21世紀の作家-福岡 美野よう子展アーティスト・トーク	10月14日(土)	美野よう子	福岡市美術館	50
(社)太平洋美術会西日本支部定期総会	10月15日(日)		(社)太平洋美術会西日本支部	53
福岡市中学校美術教育研究会常任委員会	10月18日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	13
大森裕美子お話し「いいもののおはなし」 <small>(水晶の雫をさがして)関連</small>	10月21日(土)	大森裕美子	「水晶の雫をさがして」 実行委員会	30
創元会 例会	10月22日(日)		創元会	38
福岡美術展覧会	10月25日(水)		福岡美術	15
福岡茶道文化連盟 第35回各流合同茶会	11月2日(木) 11月3日(金)		福岡茶道文化連盟	20 670
平田五郎スライド&トーク「私の家をつくるわけ」 <small>(水晶の雫をさがして)関連</small>	11月5日(日)	平田五郎	「水晶の雫をさがして」 実行委員会	90
第17回読売書法九州展	11月13日(日)		読売新聞事業局企画部	25
美術館鑑賞授業	11月14日(火)		舞鶴中学校	29
福岡市中学校美術教育研究会常任委員会	11月15日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	9
美術館鑑賞授業	11月16日(木)		舞鶴中学校	29
美術館鑑賞授業	11月17日(金)		舞鶴中学校	28
第21回中央区市民文化祭新美術部門表彰式	11月19日(日)		中央区振興課	50

教養講座室

講座・講演会名	期日	講師	主催	参加者数(人)
第52回毎日芸術九州展準備	11月20日(月)		毎日新聞西部本社	20
2000年度FCC審査会	12月1日(土) 12月2日(日)		福岡コピーライターズクラブ	25 70
行動美術会会議	12月3日(日)		行動美術会	8
福岡市中学校美術教育研究会常任委員会	12月6日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	10
福岡市高齢者美術展表彰式	12月8日(金)		福岡市老人クラブ連合会	80
水彩画同好会発足会	12月8日(金)		中村学園事業部	10
対人関係開発セミナー	12月19日(水) 12月20日(木) 12月21日(金)		福岡市職員研修所	24 24 24
平成13年				
創元会作品研究会	1月14日(日)		創元会	51
福岡市中学校美術教育研究会常任委員会	1月17日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	14
園工研1月例会「造形遊びのこれから」	1月20日(土)		福岡市小学校図画工作教育研究会	30
第14回楽亭書道展打ち合わせ	1月20日(土)		新日カルチャー書道連盟事務局	15
平成12年度九州産業大学芸術学部卒業発表会	2月8日(木) 2月9日(金) 2月10日(土)		九州産業大学	60 60 60
創元会研究会	2月11日(日)		創元会福岡支部	85
美術鑑賞授業	2月15日(木)		舞鶴中学校	30
美術鑑賞授業	2月16日(金)		舞鶴中学校	29
第3回所蔵品によるアートセミナー「富田漢仙と近代日本画」(1)	2月17日(土)	福岡大学人文学部教授 古川智次	福岡市美術館	30
美術鑑賞授業	2月21日(火)		舞鶴中学校	30
第3回所蔵品によるアートセミナー「富田漢仙と近代日本画」(2)	2月24日(土)	福岡大学人文学部教授 古川智次	福岡市美術館	30
第3回所蔵品によるアートセミナー「富田漢仙と近代日本画」(3)	3月3日(土)	福岡大学人文学部教授 古川智次	福岡市美術館	30
流動する美術—VII 視覚を越えて・廻りてアーティスト・トーク	3月4日(日)	日高理恵子	福岡市美術館	30
太平洋美術会春の研修会	3月10日(土) 3月11日(日)		(社)太平洋美術会 西日本支部	40 50
第3回所蔵品によるアートセミナー「富田漢仙と近代日本画」(4)	3月10日(土)	福岡大学人文学部教授 古川智次	福岡市美術館	30
第3回所蔵品によるアートセミナー「富田漢仙と近代日本画」(5)	3月17日(土)	福岡大学人文学部教授 古川智次	福岡市美術館	30
美術鑑賞授業	3月21日(水)		舞鶴中学校	36
美術鑑賞授業	3月22日(木)		舞鶴中学校	34

(講師敬称略)

実技講座室

講座・講演会名	期日	講師	主催	参加者数(人)
平成12年				
形彩会・日洋会絵画研究会	4月16日(日)		形彩会 日洋会	15
日洋会福岡絵画研究会	5月3日(水・祝)		日洋会福岡	10
形彩会絵画研究会	6月11日(日)		形彩会	15
福岡市中学校美術教育研究会会員研修会「中国の子どもたちと美術」	7月5日(水)	日中間文化交流協会 会長 張 晶	福岡市中学校美術教育研究会	24
夏休みこども美術館「古美術ワンダーランド～楽しさいっぱいむかしの絵」ワークショップ	8月6日(日)	表貝節 半田達二	福岡市美術館	18
形彩会絵画研究会	8月13日(日)		形彩会	10
作陶会	8月20日(日)		JINの会	50
第14回日洋展研究会	8月22日(火) 8月23日(水)		日洋会	40 20
武蔵美福岡学習会勉強会	8月27日(日)		武蔵美福岡学習会	10
テッサン学習会	9月24日(日)		武蔵美福岡学習会	20
女子美100周年同窓会記念行事 銅版画「ポタニカルカードを創ろう」	10月11日(水)	高野尚子	女子美術大学同窓会	28
女子美100周年同窓会記念行事 風景画	10月12日(木)	三好るり	女子美術大学同窓会	17
女子美100周年同窓会記念行事 ワークショップ・工芸	10月14日(土)	佐藤鞠子	女子美術大学同窓会	26
女子美100周年同窓会記念行事 ポップアート	10月15日(日)	的野恭子	女子美術大学同窓会	35
形彩会絵画研究会	11月12日(日)		形彩会	11
静物テッサン・スケッチ学習会	11月26日(日)		武蔵美福岡学習会	8
園工研12月例会「総合的な学習へ向けての実技講座」	12月16日(土)		福岡市小学校図画工作 教育研究会	40
創元会研究会	12月17日(日)		創元会	38
テッサン会	12月24日(日)		武蔵美福岡学習会	10
平成13年				
親子版画教室「冬の風の中で～ 自然をテーマに木版画にチャレンジ」	1月7日(日) 1月8日(月)	福岡女学院高等学校教諭 瓦田 勝 福岡女学院非常勤講師 井上利子	福岡市美術館	28
テッサン会	1月28日(日)		武蔵美福岡学習会	15
親子でアート	2月10日(土)		ふくおかenネット21	40
テッサン会	2月25日(日)		武蔵美福岡学習会	10
創元会 作品研究会	3月11日(日)		創元会	48
形彩会 油彩指導研究会	3月18日(日)		形彩会	20
テッサン学習会	3月25日(日)		武蔵美福岡学習会	15

(講師敬称略)

版画印刷工房

講座	期日	講師	主催	参加者数(人)
	平成12年			
リトグラフ制作	4月2日(日)		北九州版画教室	3
リトグラフ制作	4月23日(日)		北九州版画教室	1
リトグラフ制作	5月14日(日)		北九州版画教室	3
リトグラフ制作	5月28日(日)		北九州版画教室	3
リトグラフ制作	6月11日(日)		北九州版画教室	3
リトグラフ制作	6月26日(日)		北九州版画教室	3
リトグラフ制作	7月2日(日)		北九州版画教室	2
リトグラフ制作	7月23日(日)		北九州版画教室	2
リトグラフ制作	8月6日(日)		北九州版画教室	3
リトグラフ制作	9月10日(日)		北九州版画教室	3
リトグラフ制作	10月8日(日)		北九州版画教室	3
女子美術100周年同窓会記念行事 銅版画「ポタニカルカードを彫ろう」	10月11日(水)	高野向子	女子美術大学	28
版画教室(リトグラフ制作)	10月12日(木)	森 信也	森 信也	1
版画教室(リトグラフ制作)	10月13日(金)	森 信也	森 信也	6
リトグラフ制作	11月5日(日)		北九州版画教室	1
版画教室(リトグラフ制作)	11月10日(金)	森 信也	森 信也	3
リトグラフ制作	11月12日(日)		北九州版画教室	2
リトグラフ制作	11月17日(金)		森 信也	1
リトグラフ制作	11月22日(水)		森 信也	1
リトグラフ制作	11月23日(木)		森 信也	1
リトグラフ制作	11月26日(日)		北九州版画教室	2
リトグラフ制作	11月30日(木)		森 信也	2
リトグラフ制作	12月1日(金)		森 信也	2
リトグラフ制作	12月3日(日)		北九州版画教室	2
リトグラフ制作	12月8日(金)		さざんかの会	2
リトグラフ制作	12月14日(木)		森 信也	1
リトグラフ制作	12月15日(金)		森 信也	1
リトグラフ制作	12月17日(日)		北九州版画教室	2
	平成13年			
親子版画教室「冬の嵐の中で～ 自然をテーマに木版画にチャレンジ」	1月7日(日)	福岡女学院高等学校教諭 瓦田 勝	福岡市美術館	28
	1月8日(月)	福岡女学院非常勤講師 井上利子		
リトグラフ制作	1月14日(日)		北九州版画教室	3
リトグラフ制作	1月28日(日)		北九州版画教室	2
リトグラフ制作	2月11日(日)		北九州版画教室	3
リトグラフ制作	2月25日(日)		北九州版画教室	3
リトグラフ制作	3月11日(日)		北九州版画教室	2

(講師敬称略)

読書室利用者数一覧

月	月総数(人)	一日平均(人)	開館日数(日)	年累計(人)	総累計(人)
4	683	26	26	683	308,287
5	722	27	26	1,405	309,009
6	566	21	26	1,971	309,575
7	829	33	25	2,800	310,404
8	1,534	56	27	4,334	311,938
9	771	29	26	5,105	312,709
10	722	27	26	5,827	313,431
11	659	25	26	6,486	314,090
12	457	19	23	6,943	314,547
1	618	26	23	7,561	315,165
2	704	29	24	8,265	315,869
3	621	23	27	8,886	316,490
年総数	8,886	29	305		

小数点以下切捨



読書室風景

図録

図録名	規格	頁数	編集・発行
日本の美 笑い	A4変形	208	福岡市美術館、島根県立美術館編集・発行
北斎展	A4変形	106	福岡市美術館編集・北斎展実行委員会発行
ポルドー美術館展	A4変形	185	福岡市美術館編集・西日本新聞社発行
水晶の塔をさがして 現代アートが関く「私」の世界 (付録「展示記録」)	A4変形	92	福岡市美術館編集・発行
第35回福岡市美術館展	A4変形	47	福岡市美術館展運営委員会編集・発行
第2回21世紀の作家一掃閣 奥野よう子展 美しい街	A4変形	42	福岡市美術館編集・発行
流動する美術-VI 我覚を越えて・巡りて 日高理恵子/光島貴之の絵画	A4変形	31	福岡市美術館編集・発行
インドネシア・スラバヤン画に導かれた芸術 交趾展展	A4変形	112	福岡市美術館編集・発行

常設展示リーフレット

企画展示室リーフレット

展覧会名	規格	頁数
工藤昌巳・藤岡彌生展	A4	4

小作品室リーフレット

No.	展覧会名	規格	頁数
203	小野忠重展	A4変形	4
204	メクセーバー展	A4	4
205	古川吉重展	A4	4
206	横尾忠則の版画(ポスター)	A4	4
207	海老原善之助の美術	A4	4
208	山中環の本格画 西キコレクションより	A4	4
209	デュビュッフエ展 「物質と記憶 あるいは美術の伝説的たち」より	A4	4
210	アルパース展 絵巻集/フォー・ミューラ・シムラン・チキ・ミューラ・シムラン(佐)より	A4	4
211	長谷川潔展	A4	4
212	小野木学展	A4	4

古美術リーフレット

No.	展覧会名	会場	規格	頁数
127	黒田資料名品展	古美術企画展示室	A4変形	2
128	御用絵師展	古美術企画展示室	A4	2
129	松永耳庵と外国の美術工芸	松永記念館室	A4	2
130	インドネシアとインドの染織	古美術企画展示室	A4	2
131	茶の湯と仏具-純粋・三深と耳庵-	松永記念館室	A4	2
132	仙居展-仙居の画僧三・博多へ来た仙居さん-	古美術企画展示室	A4	2
133	新収蔵品展	古美術企画展示室	A4	2

図書リーフレット

名称	規格	頁数
図書特集 美術をめぐる冒険 Part6 美術コレクターの世界を読む	A4	4



「ポルドー-美術館展」図録



「流動する美術-VI 我覚を越えて・巡りて」図録

美術館ニュース エスプラナード

No.	発行日	内容	規格	頁数
116	平成12年5月15日	報告-コッホ展ワークショップ「コッホになろう!」/報告-村上勝キヤリートーク/北斎展-北斎展の見どころ/近現代美術常設展示室より 郷土作家特集について/所蔵品紹介No.220鎌木清方「あさみどり」/所蔵品紹介No.221高取俊「掛分半蘭茶碗」/「エスプラナード」創刊号の頃/編集後記/インフォメーション/他館展覧会案内	A4	8
117	平成12年7月15日	特集1 溢れる詩情は、優雅で静寂 ポルドー美術館展 ドラクロワからピカソまでのフランス美術を彩る名品/特集2 今年は何がでるのやら??? 夏休みこども美術館2000 古美術ワンダーランド 楽しさいっぱいむかし絵/所蔵品紹介No.222オチ オサム「脳波による自画像(四面体)」/所蔵品紹介No.223宗葉山丸.C.D・カルモンテル「阿彌陀絵紙」/学芸員エッセイ9 アーティスト=小林健二のこと/編集後記/インフォメーション/他館展覧会案内	A4	8
118	平成12年9月15日	特集1 現代アートが関く「私」の世界 水晶の塔をさがして/特集2 第2回21世紀の作家一掃閣 奥野よう子展 美しい街/所蔵品紹介No.224小牧源太郎「坊さんかんざし」/所蔵品紹介No.225インド-グジャラート産「経緯緋文更紗」/学芸員エッセイ9/エスプラナード購読者募集/編集後記/インフォメーション/他館展覧会案内	A4	8
119	平成12年11月15日	特集 交趾展展/報告 夏休みこども美術館2000 古美術ワンダーランド 楽しさいっぱいむかし絵/所蔵品紹介No.226児島義三郎「五世太田清藏氏像」/所蔵品紹介No.227仙居義梵「老人六歌仙図屏風」/学芸員エッセイ10 学芸員のミッション-インボッシュブル イン パリ/フランス美術史講座開催のお知らせ/編集後記/インフォメーション/他館展覧会案内	A4	8
120	平成13年1月15日	21世紀を迎えて/五代太田清藏コレクション 里帰り浮世絵名品と珠玉の絵巻展/講演「20世紀アメリカンアート」開催のお知らせ/特集 流動する美術VII 視覚を越えて・巡りて 日高理恵子・光島貴之の絵画/所蔵品紹介No.228吉村忠夫「播磨の娘子」/所蔵品紹介No.229尾形乾山「楳杵香合」/学芸員エッセイ11 ぞっとしたりほっとしたり/読書室だより 図書特集 美術をめぐる冒険-Part6 美術コレクターの世界を読む/編集後記/インフォメーション/他館展覧会案内	A4	8
121	平成13年3月15日	報告 奥野よう子アーティストトーク/報告 親子版画教室-冬の嵐の中で-自然をテーマに木版画にチャレンジ/特集 平成13年度福岡市美術館展覧会スケジュール/所蔵品紹介No.230長谷川潔「鋭い刺らされた小鳥」/所蔵品紹介No.231タイ-シーラッチャライ展「白濁輪菊花輪風帆又水注」/司書エッセイ「何をって?」/第35回福岡市美術館展を開催/編集後記/インフォメーション/他館展覧会案内	A4	8



エスプラナードNo.118



エスプラナードNo.120

福岡市美術館活動の記録

年度	発行日	規格	頁数
平成11年度	平成13年3月20日	A4	72

■平成12年

4月25日(火)～4月26日(水)	山口洋三「津波の場をさがして」展のため、大田市にて作品調査。
5月25日(木)	渡邊雄二、全九州市にて九州の典義美術調査。
6月14日(水)～6月17日(土)	山口洋三、東京都、大田市にて購入候補作品調査。
7月11日(水)～7月12日(木)	飯田勝則、鹿児島市、佐賀市にて「田中一村展」作品調査。
7月12日(木)	山本善博子、鹿児島市にて「田中一村展」作品調査。
7月20日(水)	堀本佳代子、石橋美術館(久留米市)にてアートコミュニケーション研究会年次大会報告会参加。
8月12日(土)	堀本佳代子、熊本県立美術館にてワークショップ開催。
8月30日(水)	塚崎直人、九州歴史資料館(太宰府市)にて調査。
10月19日(木)	塚崎直人、堺市にて展覧会調査。
10月22日(日)	堀本佳代子、鹿児島県にて真島アートの森ワークショップ開催。
10月22日(日)～10月30日(日)	塚崎直人、インドネシアにて展覧会調査。
10月31日(水)～11月1日(木)	堀本佳代子、東京都、横浜市にて教育普及ワーキンググループ公開研究会(美術館調査とは何か)出席および横浜美術館こどものアトリエ視察。
11月9日(水)	塚崎直人、「交趾地蔵」のため、佐賀県有田町にて調査。
11月11日(金)	渡邊雄二、「福岡の近世やまと絵画」のため、山門郡山門町にて調査。
11月11日(土)～11月12日(日)	堀本佳代子、兵庫県立近代美術館(神戸市)および桂州市立御嶽山美術館にてワークショップ開催。
11月25日(土)～11月26日(日)	石田夢弘、東京都にて作品購入調査。
11月26日(日)～11月27日(月)	都築悦子、東京都、福山市にてカンボジアおよびインドネシア展調査。
12月5日(火)	渡邊雄二、遠賀郡明地町にて「西園寺興宗の什宝展」の会務調査。
12月13日(水)～12月15日(金)	山本善博子、東京都にて購入候補作品調査。
12月14日(木)	石田夢弘、渡邊雄二、浮羽郡吉井町にて作品調査。
12月15日(金)	渡邊雄二、「西園寺興宗の什宝展」のため、糸島郡二見町にて調査。

■平成13年

1月25日(水)	渡邊雄二、「西園寺興宗の什宝展」のため、朝倉郡杵築町にて調査。
2月1日(日)	渡邊雄二、「西園寺興宗の什宝展」のため、飯塚市にて調査。
2月11日(月)	堀本佳代子、佐賀市にて第32回全国ボランティア研究集会参加。
2月12日(火)～2月22日(水)	山口洋三、「ミコマルマシマル」展のため、アメリカにて調査。
2月14日(木)	渡邊雄二、「西園寺興宗の什宝展」のため、久留米市にて調査。
3月7日(水)～3月9日(金)	渡邊雄二、「西園寺興宗の什宝展」のため、熊本市にて調査。
3月14日(火)～3月15日(水)	渡邊雄二、「福岡の近世やまと絵画」および「西園寺興宗の什宝展」のため、鹿児島市、出水市にて調査。
3月19日(日)～4月5日(水)	堀本佳代子、アメリカにて美術館教育普及事業調査。
3月27日(火)～3月31日(土)	塚崎直人、東京都にて「松本コレクション展」のため調査、および各美術作品調査。
3月27日(火)～4月4日(水)	飯田勝則、「酒田漁港発展」のため東京都、鎌倉市にて調査。

美術資料収集件数一覧

近現代美術			古美術		
購入	寄贈	合計	購入	寄贈	合計
98件	0件	98件	104件	0件	104件
					総計
					202件

近現代美術

■購入

九州の作家		油彩画		制作年		寸法(cm)		素材・技法		備品受入番号	
所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号					
1-A-434	並藤健太郎	田舎の部地坊前の風景	1907	55.9×66.3	油彩・画布	50005281					
1-A-439	中村隆行	三旗の牛	1995	193.8×162.0	油彩・画布	50005283					
1-A-444	松浦安弘	シチリアーナ	1979	130.2×193.8	油彩・画布	50005284					
1-A-453	熊野孔次	窓辺	1957	130.4×81.5	油彩・画布	50012901					
1-A-456	溝 純一	番道	1997	163.0×300.5	油彩、テンペラ、金箔・画布	50012902					
1-A-457	竹岡半子	アエオラ・ラ・ビ・ビシ	1996	194.4×259.5	油彩・画布	50012903					
1-A-460	松田隆昌	橘香の村(流の上風景)	1913	89.4×71.7	油彩・画布	50012904					
1-A-464	吉田 博	霞籠深秋	1898	111.0×68.2	油彩・画布	50014282					

九州の作家

九州の作家		水彩画		制作年		寸法(cm)		素材・技法		備品受入番号	
所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号					
1-C-204	吉田 博	海の風景	1916-11頃	32.3×49.6	水彩・紙	50005282					
1-C-206	上村次郎	フィレンツェ大聖堂	1983	130.5×99.0	水彩・紙(板に紙張り)	50012908					
1-C-207	吉田 博	水車小屋	1894-99頃	33.4×50.1	水彩・紙	50012910					
1-C-208	吉田 博	月下の舞家	1902頃	32.6×49.1	水彩・紙	50012899					
1-C-209	吉田 博	(画稿)こまぐさ	不詳	33.0×48.0	水彩・紙	50012911					
1-C-210	吉田 博	(画稿)霞渡	不詳	33.0×48.0	水彩・紙	50012912					
1-C-211	吉田 博	(画稿)山上野宮の籠	不詳	33.0×48.0	水彩・紙	50012913					
1-C-212	吉田 博	(画稿)籠	不詳	33.0×48.0	水彩・紙	50012914					
1-C-213	吉田 博	(画稿)朝霧	不詳	33.0×48.0	水彩・紙	50012915					
1-C-214	吉田 博	(画稿)「橋太郎」	不詳	33.0×48.0	水彩・紙	50012916					
1-C-215	吉田 博	(画稿)「ひよこ」	不詳	33.0×48.0	水彩・紙	50012917					
1-C-216	吉田 博	(画稿)「人形」	不詳	33.0×48.0	水彩・紙	50012918					
1-C-217	吉田 博	(画稿)雨	不詳	33.0×48.0	水彩・紙	50012919					
1-C-218	吉田 博	(画稿)琉球写生	不詳	33.0×48.0	水彩・紙	50012920					
1-C-219	吉田 博	(画稿)鹿島	不詳	33.0×48.0	水彩・紙	50012921					
1-C-220	吉田 博	(画稿)ヴェニス船	不詳	33.0×48.0	水彩・紙	50012922					
1-C-221	吉田 博	(画稿)バラ	不詳	33.0×48.0	水彩・紙	50012923					
1-C-222	吉田 博	(画稿)ピラミッド	不詳	33.0×48.0	水彩・紙	50012924					
1-C-223	吉田 博	(画稿)花	不詳	33.0×48.0	水彩・紙	50012925					
1-C-224	吉田ふじを	富士山麓を往く旅人	1903	34.5×51.5	水彩・紙	50012900					

九州の作家

九州の作家		版画		制作年		寸法(cm)		素材・技法		備品受入番号	
所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号					
1-E-658	小川幸一	青い球体 1-A	1980	39.9×53.9	シルクスクリーン・紙	50005272					
1-E-659	小川幸一	青い球体 V-C	1980	63.7×89.6	シルクスクリーン・紙	50005259					
1-E-660	小川幸一	青い球体 V-C*	1980	33.9×47.9	シルクスクリーン・紙	50005271					
1-E-661	小川幸一	青い球体 No.3*	1982	35.0×48.9	シルクスクリーン・紙	50005273					
1-E-662	小川幸一	青い球体 No.4	1982	64.9×89.8	シルクスクリーン・紙	50005280					
1-E-663	小川幸一	赤い球体 No.1	1982	63.9×89.6	シルクスクリーン・紙	50005281					
1-E-664	小川幸一	青い球体 No.5	1983	65.3×90.2	シルクスクリーン・紙	50005282					
1-E-665	小川幸一	青い球体 No.4*	1984	35.0×48.1	シルクスクリーン・紙	50005274					
1-E-666	小川幸一	赤い球体 No.7*	1987	33.9×48.0	シルクスクリーン・紙	50005275					
1-E-667	小川幸一	青い球体 V-O*-1	1987	33.9×47.9	シルクスクリーン・紙	50005276					
1-E-668	小川幸一	青い球体 No.1,3	1987	63.8×90.0	シルクスクリーン・紙	50005283					
1-E-669	小川幸一	赤い球体 No.4	1987	63.7×90.1	シルクスクリーン・紙	50005284					

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
1-E-670	小川幸一	黒い球体 V-F-5	1968	34.9×47.9	シルクスクリーン・紙	50005277
1-E-671	小川幸一	黒い球体 V-F-2	1968	34.0×47.9	シルクスクリーン・紙	50005278
1-E-672	小川幸一	黒い球体 No.17	1989	64.7×89.8	シルクスクリーン・紙	50005285
1-E-673	小川幸一	黒い球体 No.4+G	1989	39.9×48.0	シルクスクリーン・紙	50005279
1-E-674	小川幸一	黒い球体 No.9	1989	64.0×89.0	シルクスクリーン・紙	50005286
1-E-675	小川幸一	黒い球体 No.12	1990	64.9×90.0	シルクスクリーン・紙	50005287
1-E-676	小川幸一	生物 No.2	1992	65.1×90.1	シルクスクリーン・紙	50005288
1-E-677	小川幸一	黒い球体 V-D-2	1993	34.0×47.9	シルクスクリーン・紙	50005280
1-E-678	小川幸一	白い球体 No.1	1994	65.5×90.1	シルクスクリーン・紙	50005289
1-E-679	小川幸一	白い球体 No.1 B	1995	85.2×144.4	シルクスクリーン・紙	50005256
1-E-680	小川幸一	生物 No.3 Twin	1996	90.2×130.4	シルクスクリーン・紙	50005257
1-E-681	小川幸一	黒い球体 No.1	1997	64.9×90.0	シルクスクリーン・紙	50005270
1-E-682	小川幸一	生物 No.4 Twin	1997	89.6×129.4	シルクスクリーン・紙	50005258
1-E-683	吉川吉康	SOUND-1	1997	62.4×77.8	リトグラフ・紙	50012905
1-E-684	吉川吉康	SOUND-2	1997	77.7×82.3	リトグラフ・紙	50012905
1-E-685	吉川吉康	SOUND-3	1997	62.4×77.8	リトグラフ・紙	50012905
1-E-686	吉川吉康	SOUND-4	1997	62.3×77.8	リトグラフ・紙	50012905
1-E-687	吉川吉康	SOUND-5	1997	62.4×77.8	リトグラフ・紙	50012905
1-E-688	吉川吉康	SOUND-6	1997	62.3×77.8	リトグラフ・紙	50012905
1-E-689	吉川吉康	SOUND-7	1997	62.3×77.8	リトグラフ・紙	50012905
1-E-690	吉川吉康	SOUND-8	1997	62.4×77.8	リトグラフ・紙	50012905
1-E-691	吉川吉康	SOUND-9	1997	77.8×62.4	リトグラフ・紙	50012905
1-E-692	吉川吉康	SOUND-10	1997	62.4×77.8	リトグラフ・紙	50012905

九州の作家 彫刻等						
所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
1-G-45	宮崎幸之助	鐘魂のための試作(彫兄上)	1980	■60.0×40.0(木1脚) ■35.0×35.0(紙)		50012907
1-G-47	米倉 徳	無題 1,2	1964-99	76.8×24.6×40.5	金具、コンクリート、樹脂、電線ノック	50012908

日本の作家 水彩等						
所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
2-C-11	草間彌生	増殖する網	1953	43.0×30.2	インク・墨・紙	50005254
2-C-12	草間彌生	夜の生物	1975	55.2×39.5	パステル、インク、コラーージュ・紙	50005255

日本の作家 版画						
所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
2-E-946	小野木 亨	風景—SIT	1968	56.8×56.9	シルクスクリーン、変押し・紙	50014295
2-E-947	小野木 亨	Landscape-X-F 風景	1973	41.8×42.0	シルクスクリーン・紙	50014296
2-E-948	小野木 亨	Landscape-X-J 風景	1973	48.4×37.0	シルクスクリーン、変押し・紙	50014297
2-E-949	小野木 亨	Landscape-X-Q	1973(?)	48.4×37.0	シルクスクリーン、変押し・紙	50014298
2-E-950	小野木 亨	風景—N.R.H	1976	20.7×21.6	シルクスクリーン、変押し・紙	50014299
2-E-951	小野木 亨	Landscape-T.L.M	1974	56.9×57.0	シルクスクリーン、変押し・紙	50014300
2-E-952	小野木 亨	Landscape-L.U.C	1975(?)	19.6×18.6	シルクスクリーン、変押し・紙	50014301
2-E-953	小野木 亨	Landscape-L.U.D	1975	57.2×57.1	シルクスクリーン、変押し・紙	50014302
2-E-954	小野木 亨	Landscape-L.U.F	1975	62.5×37.0	シルクスクリーン、変押し・紙	50014303
2-E-955	小野木 亨	Landscape-L.U.L	1975	39.4×42.1	シルクスクリーン、変押し・紙	50014304

海外の作家 版画						
所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
3-E-638	S.M.S.	[S.M.S.] 彫刊号—第6号	1968	—	—	50012906
3-E-639	ハンス・ベルメール	明瞭と隠昧の男との対話(遺稿小論 D)	1968	25.6×21.0	エッチング・紙	50014283
3-E-640	ハンス・ベルメール	アノニスとヴァルケール(遺稿小論 ID)	1968	27.7×21.2	エッチング・紙	50014284
3-E-641	ハンス・ベルメール	美徳の不運(遺稿小論 0)	1968	27.6×21.1	エッチング・紙	50014285
3-E-642	ハンス・ベルメール	ソドムの狂二十日(遺稿小論 N)	1968	27.3×21.1	エッチング・紙	50014286
3-E-643	ハンス・ベルメール	新ジュスティーヌのための覚え書(遺稿小論 V)	1968	27.5×21.0	エッチング・紙	50014287
3-E-644	ハンス・ベルメール	お嬢さん、聖といふ鳥は。(遺稿小論 VI)	1968	27.3×21.3	エッチング・紙	50014288

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
3-E-645	ハンス・ベルメール	小談論(遺稿小論 YII)	1968	27.6×21.1	エッチング・紙	50014289
3-E-646	ハンス・ベルメール	恋の罪(遺稿小論 VIII)	1968	27.2×21.0	エッチング・紙	50014290
3-E-647	ハンス・ベルメール	鏡前静女(遺稿小論 X)	1968	27.6×21.1	エッチング・紙	50014291
3-E-648	ハンス・ベルメール	ジュリエット物語あるいは 美徳の栄え(遺稿小論 XI)	1968	27.8×21.1	エッチング・紙	50014292

海外の作家 写真						
所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
3-F-137	ハンス・ベルメール	人形, 1935年	1983	25.7×25.9	写真(モダンプリント)	50014293
3-F-138	ハンス・ベルメール	人形, 1935年	1983	25.8×25.9	写真(モダンプリント)	50014293
3-F-139	ハンス・ベルメール	人形, 1935年	1983	25.5×25.8	写真(モダンプリント)	50014293
3-F-140	ハンス・ベルメール	人形, 1935年	1983	25.3×25.8	写真(モダンプリント)	50014293
3-F-141	ハンス・ベルメール	人形, 1935年	1983	25.8×25.9	写真(モダンプリント)	50014293
3-F-142	ハンス・ベルメール	人形, 1935年	1983	25.4×25.8	写真(モダンプリント)	50014293
3-F-143	ハンス・ベルメール	人形, 1935年	1983	25.6×25.8	写真(モダンプリント)	50014293
3-F-144	ハンス・ベルメール	人形, 1938年	1983	25.4×25.7	写真(モダンプリント)	50014294
3-F-145	ハンス・ベルメール	人形, 1938年	1983	25.4×25.7	写真(モダンプリント)	50014294
3-F-146	ハンス・ベルメール	人形, 1938年	1983	25.6×25.8	写真(モダンプリント)	50014294



吉田博(宮崎県), 1958年。



小川幸一(生物No.2), 1992年。



ハンス・ベルメール(人形, 1935年), 1983年。

古美術

■購入

所蔵品番号	作品名	作者名	時代	法量(cm)	品類	備品受入番号
14-B-23	伊勢物語巻紙 六十七段 花の村	伝・徳富宗康 紙ノ綾小路俊房 詞書	江戸時代 寛永11年(1634)頃	24.5×20.0	紙本墨色	50005285
14-B-25	文官肖像		李朝時代中期	165.3×98.4	絹本墨色	50005286
14-B-26	三十九歌仙肖像	岩佐又兵衛	江戸時代前期	21.0×21.6(各画)	紙本墨色	50016529

南蛮図

所蔵品番号	作品名	種別	時代	法量(cm)	品類	備品受入番号
14-Ha-116	白組薩井文鳥付巻	ペトナム	12~13世紀	高さ36.3 幅25.4 縦横19.3	紙巻	50012885
14-Ha-117	黒組薩井口巻	クメール	10~11世紀	高さ33.7 幅26.0 口横14.0	紙巻	50012886

所蔵品番号	作品名	作者名	時代	法量 (cm)	品類	備品受入番号
14-Hd-39	鳥澤華厳心持和料経巻 経巻	経巻	江戸時代後期	縦13.8 横28.8 裏11.0 横裏22.0 裏16.2 裏18.4	漆巻	50012887
14-Hd-40	藤松竹梅文巻		江戸時代中期	縦13.8 横11.7 高さ10.9	漆巻	50012888

所蔵品番号	作品名	作者名	時代	法量 (cm)	品類	備品受入番号
14-Hc-1	鉄金銀線掛		前近代	縦44.5 横74.7 裏24.5	鉄金銀製網	50012890
14-Hc-2	金銀刺繍掛		高麗時代	縦41.9 横75.3 裏7.6	刺繍	50012889

所蔵品番号	作品名	産地	時代	法量 (cm)	品類	備品受入番号
14-Hd-270	変形文様織糸絞織	カンボジア	19世紀	182×210	絹	50012892
14-Hd-271	幾何学文様織糸絞織	カンボジア	19世紀	97×160	絹	50012893
14-Hd-272	唐格子花文様織糸絞織	カンボジア	19世紀	96.0×299.8	絹	50012894
14-Hd-273	赤松文様織糸絞織	カンボジア	19世紀	96.6×304.5	絹	50012895
14-Hd-274	変形文様織糸絞織	カンボジア	19世紀	93.8×312.6	絹	50012896
14-Hd-275	変形文様織糸絞織	カンボジア	19世紀	83.6×273.0	絹	50012896
14-Hd-276	縁織の文様織糸絞織	カンボジア	19世紀	90.0×174.4	絹	50012897
14-Hd-277	玉糸平織	カンボジア	19世紀	97×315	絹	50012898
14-Hd-278	高格子柄文様刺繍上巻	インドネシア、スマトラ島 アチェまたはコロンブス	18世紀	60×163	木綿	50012891

所蔵品番号18-Hd-1～116の産地はインドネシア・スマトラ島である。
(ただし18-Hd-4～5, 47～50は除く)

●購入 ニイコクスマコレクション

所蔵品番号	作品名	産地	時代	法量 (cm)	品類	備品受入番号
18-Hd-1	幾何学文様織糸絞織	アチェ特別州	19-20世紀	43.5×43.5	木綿(黒・タコノキ、木綿糸) 金銀糸、赤地、黒、紺色糸	50004517
18-Hd-2	幾何学文様織糸絞織	アチェ特別州 西アチェ	19-20世紀	120.0×97.0	輸入絹糸、木綿、紺色糸、スパンコール	50004518
18-Hd-3	幾何学文様織糸絞織	アチェ特別州(北郡地方)	19-20世紀	220.0×89.0	絹、紺色糸	50004519
18-Hd-4	幾何学文様織糸絞織	インドネシア、アチェで使用	19-20世紀	133.0×130.0	絹	50004518
18-Hd-5	ユーズリー文様織糸絞織	インドネシア、アチェで使用	19-20世紀	114.0×113.0	木綿	50004519
18-Hd-6	丹文織糸絞織	アチェ特別州 中アチェ	19-20世紀	222.0×93.0	インド産木綿、輸入インシットレーズ	50004520
18-Hd-7	幾何学文様アップリク	アチェ特別州 中アチェ	19-20世紀	186.5×91.0	絹、木綿	50004521
18-Hd-8	幾何学文様織糸絞織	アチェ特別州 中アチェ	19-20世紀	166.4×22.5	木綿(手紡ぎ)、紺色糸、市販糸、 輸入糸糸、天然染料	50004517
18-Hd-9	幾何学文様織糸絞アップリク	アチェ特別州 東南アチェ	19-20世紀	44.0×40.5	木綿	50004522
18-Hd-10	幾何学文様織糸絞アップリク	アチェ特別州 東南アチェ	19-20世紀	44.0×42.5	木綿	50004522
18-Hd-11	幾何学文様織糸絞織糸絞織	北スマトラ州 シマルングン	19-20世紀	210.0×130.3	木綿、輸入糸糸、天然染料	50004523
18-Hd-12	幾何学文様織糸絞織糸絞織	北スマトラ州 北タバハリ	19-20世紀	215.5×95.0	木綿、天然染料	50004523
18-Hd-13	経緯幾何学文様織糸絞織	北スマトラ州 南タバハリ	19-20世紀	212.5×95.0	木綿、輸入糸糸、ガラスビーズ	50004524
18-Hd-14	経緯幾何学文様織糸絞織	北スマトラ州 タバハリ	19-20世紀	212.0×79.0	木綿、ガラスビーズ(地組織の 緯糸に透す)	50004525
18-Hd-15	経緯幾何学文様織糸絞織糸絞織	北スマトラ州 シマルングン	19-20世紀	220.6×74.1	木綿、ガラスビーズ(地組織の 緯糸に透す)、化学染料	50004526
18-Hd-16	経緯幾何学文様織糸絞織糸絞織	北スマトラ州 北タバハリ	19-20世紀	224.2×93.3	木綿、ガラスビーズ(地組織の 緯糸に透す)、化学染料	50004527
18-Hd-17	幾何学文様織糸絞織糸絞織	北スマトラ州 北タバハリ	19-20世紀	218.6×137.0	木綿、ガラスビーズ(地組織の 緯糸に透す)、天然染料	50004528
18-Hd-18	経緯幾何学文様織糸絞織糸絞織	北スマトラ州 山口	19-20世紀	184.6×59.1	木綿	50004529
18-Hd-19	経緯幾何学文様織糸絞織	北スマトラ州 北タバハリ	19-20世紀	214.6×79.0	木綿、天然染料(藍)	50004530
18-Hd-20	経緯織	北スマトラ州 サモシール島	19-20世紀	230.6×101.0	木綿、天然染料(藍)	50004531

所蔵品番号	作品名	産地	時代	法量 (cm)	品類	備品受入番号
18-Hd-21	格子織×幾何学文様織糸絞織	北スマトラ州(バヤウン)ルハク(リマプル)コト	19-20世紀	286.2×84.1	絹、紺色糸、天然染料	50004532
18-Hd-22	格子織幾何学文様織糸絞織	北スマトラ州(バヤウン)ルハク(リマプル)コト	19-20世紀	278.4×93.3	絹、木綿、紺色糸、天然染料	50004533
18-Hd-23	格子織幾何学文様織糸絞織	北スマトラ州(バヤウン)ルハク(リマプル)コト	19-20世紀	222.6×69.0	木綿、絹、紺色糸、天然染料	50004533
18-Hd-24	格子織幾何学文様織糸絞織	北スマトラ州(バヤウン)ルハク(リマプル)コト	19-20世紀	186.0×71.3	木綿、絹、紺色糸、天然染料	50004534
18-Hd-25	格子織	北スマトラ州(タンジュン)カヤン(ルハク)タナ(ダタル)	19-20世紀	214.4×77.2	木綿、絹、紺色糸、天然染料	50004535
18-Hd-26	変形幾何学文様織糸絞織	北スマトラ州(タンジュン)カヤン(ルハク)タナ(ダタル)	19-20世紀	170.8×61.2	木綿、絹、紺色糸、紺色糸、天然染料	50004536
18-Hd-27	経緯幾何学文様織糸絞織	北スマトラ州(コタ)カヤン(ルハク)アガム	19-20世紀	212.0×69.4	絹、紺色糸	50004538
18-Hd-28	変形幾何学文様織糸絞織	北スマトラ州(タンジュン)カヤン(ルハク)タナ(ダタル)	19-20世紀	204.8×80.3	木綿、アモリ糸、天然染料	50004537
18-Hd-29	格子織幾何学文様織糸絞織	北スマトラ州(バヤウン)マアガム(ルハク)タナ(ダタル)	19-20世紀	105.0×96.5	絹、木綿、紺色糸、天然染料	50004534
18-Hd-30	格子織幾何学文様織糸絞織	北スマトラ州(バヤウン)カヤン(ルハク)タナ(ダタル)	19-20世紀	252.5×74.7	絹、紺色糸、刺繍用絹糸	50004539
18-Hd-31	幾何学文様織糸絞織	北スマトラ州(ビタラ)ルハク(タナ)ダタル	19-20世紀	276.0×67.0	絹、紺色糸、市販のブレード、 市販の金銀製房飾り	50004540
18-Hd-32	幾何学文様織糸絞織	北スマトラ州(ビタラ)ルハク(タナ)ダタル	19-20世紀	280.6×71.0	絹、紺色糸、天然染料	50004540
18-Hd-33	幾何学文様織糸絞織	北スマトラ州(バトゥン)カヤン(ルハク)タナ(ダタル)	19-20世紀	320.4×18.4	絹、紺色糸、刺繍用絹糸、 天然染料、刺繍用絹糸	50004540
18-Hd-34	幾何学文様織糸絞織	北スマトラ州(バトゥン)カヤン(ルハク)タナ(ダタル)	19-20世紀	264.0×67.7	絹、紺色糸、市販の金銀 ブレード、市販の刺繍用 絹糸	50004541
18-Hd-35	変形幾何学文様織糸絞織	北スマトラ州(バヤウン)カヤン(ルハク)タナ(ダタル)	19-20世紀	254.8×71.5	木綿、絹糸、天然染料	50004537
18-Hd-36	幾何学文様織糸絞織	北スマトラ州(サニアン)カヤン(ルハク)タナ(ダタル)	19-20世紀	125.0×182.0	英国製毛織物、紺色糸	50004543
18-Hd-37	幾何学文様織糸絞織	北スマトラ州(ロコック)カヤン(ルハク)タナ(ダタル)	19-20世紀	363.6×7.5	木綿、紺色糸	50004544
18-Hd-38	幾何学文様織糸絞織	北スマトラ州(バトゥン)カヤン(ルハク)タナ(ダタル)	19-20世紀	270.0×68.0	木綿、絹、紺色糸、刺繍用絹糸	50004542
18-Hd-39	幾何学文様織糸絞織	北スマトラ州(バトゥン)カヤン(ルハク)タナ(ダタル)	19-20世紀	230.6×107.0	木綿、絹、紺色糸、天然染料	50004542
18-Hd-40	幾何学文様織糸絞織	北スマトラ州(ムアラ)ラバ(ラナ)ランタウ	19-20世紀	214.8×91.0	木綿、絹、紺色糸、天然染料	50004542
18-Hd-41	変形幾何学文様織糸絞織	ジャババ ン ン	19-20世紀	182.8×91.0	木綿、天然染料	50004545
18-Hd-42	花鳥文様織糸絞織	ジャババ ン ン	19-20世紀	218.2×90.3	木綿、天然染料	50004546
18-Hd-43	草花文様織糸絞織	ジャババ ン ン	19-20世紀	252.0×105.2	木綿、天然染料	50004547
18-Hd-44	龍文様織糸絞織	ジャババ ン ン	19-20世紀	212.2×90.4	木綿、天然染料	50004548
18-Hd-45	龍文様織糸絞織	ジャババ ン ン	19-20世紀	210.0×88.4	木綿、天然染料	50004548
18-Hd-46	龍文様織糸絞織	ジャババ ン ン	19-20世紀	201.5×83.0	木綿、天然染料	50004548
18-Hd-47	龍文様織糸絞織	中部ジャワ(ブカワン)ラマ、ジャババ ン ン	19-20世紀	285.2×106.2	木綿、植物染料	50004548
18-Hd-48	鳳凰文様織糸絞織	中部ジャワ(ラマ)ラマ、ジャババ ン ン	19-20世紀	212.8×88.4	木綿、天然染料	50004549
18-Hd-49	鳳凰文様織糸絞織	中部ジャワ(ラマ)ラマ、ジャババ ン ン	19-20世紀	216.8×90.2	木綿、天然染料	50004550
18-Hd-50	動物文様織糸絞織	中部ジャワ(ラマ)ラマ、ジャババ ン ン	19-20世紀	240.8×103.4	木綿、植物染料	50004551
18-Hd-51	龍文様織糸絞織	ジャババ ン ン	19-20世紀	26.5×37.5	刺繍用絹糸、絹、サシ縫、刺繍用絹糸	50004552
18-Hd-52	龍文様織糸絞織	ジャババ ン ン	19-20世紀	109.0×65.0	刺繍用絹糸、絹、刺繍用絹糸	50004552
18-Hd-53	唐格子文様織糸絞織	北スマトラ州(バレン)パン	19-20世紀	243.2×97.2	絹、紺色糸	50004553
18-Hd-54	唐格子文様織糸絞織	北スマトラ州(バレン)パン	19-20世紀	167.0×84.0	絹、紺色糸、刺繍用絹糸	50004554
18-Hd-55	幾何学文様織糸絞織	北スマトラ州(バレン)パン	19-20世紀	171.0×85.5	絹、木綿、紺色糸	50004555
18-Hd-56	幾何学文様織糸絞織	北スマトラ州(バレン)パン	19-20世紀	176.2×85.2	木綿、絹、紺色糸	50004555
18-Hd-57	経緯幾何学文様織糸絞織	北スマトラ州(バレン)パン	19-20世紀	191.0×92.0	絹、紺色糸	50004556
18-Hd-58	経緯幾何学文様織糸絞織	北スマトラ州(バレン)パン	19-20世紀	192.0×86.0	絹、紺色糸	50004557
18-Hd-59	経緯幾何学文様織糸絞織	北スマトラ州(バレン)パン	19-20世紀	225.0×85.5	絹、紺色糸	50004558
18-Hd-60	幾何学文様織糸絞織	北スマトラ州(バレン)パン	19-20世紀	208.4×79.0	絹、紺色糸	50004562
18-Hd-61	花文様織糸絞織	北スマトラ州(バレン)パン	19-20世紀	227.0×94.0	絹、紺色糸	50004559
18-Hd-62	花文様織糸絞織	北スマトラ州(バレン)パン	19-20世紀	224.0×90.0	絹、紺色糸	50004560
18-Hd-63	花文様織糸絞織	北スマトラ州(バレン)パン	19-20世紀	290.4×80.4	絹、紺色糸、紺色糸	50004560
18-Hd-64	花文様織糸絞織	北スマトラ州(バレン)パン	19-20世紀	211.0×83.5	絹、紺色糸	50004561
18-Hd-65	花文様織糸絞織	北スマトラ州(バレン)パン	19-20世紀	213.0×88.5	絹、紺色糸	50004560
18-Hd-66	幾何学文様織糸絞織	北スマトラ州(バレン)パン	19-20世紀	216.0×76.2	絹、紺色糸、化学染料	50004563
18-Hd-67	幾何学文様織糸絞織	北スマトラ州(バレン)パン	19-20世紀	223.0×66.5	絹、化学染料	50004564
18-Hd-68	花文様織糸絞織	北スマトラ州(バレン)パン	19-20世紀	85.0×87.0	絹、刺繍用絹糸、紺色糸、スパンコール	50004565
18-Hd-69	花文様織糸絞織	北スマトラ州(バレン)パン	19-20世紀	81.1×83.2	絹、刺繍用絹糸、紺色糸、スパンコール	50004565
18-Hd-70	花文様織糸絞織	北スマトラ州(バレン)パン	19-20世紀	192.0×86.8	絹、紺色糸、刺繍用絹糸、スパンコール	50004566
18-Hd-71	花文様織糸絞織	北スマトラ州(バレン)パン	19-20世紀	189.0×77.5	絹(ビロード)、刺繍用絹糸、紺色糸、 スパンコール、金糸ビシヤス	50004569
18-Hd-72	唐格子文様織糸絞織	北スマトラ州(バレン)パン	19-20世紀	94.0×143.0	絹(ビロード)、紺色糸、刺繍用絹糸	50004570

所蔵品番号	作品名	産地	時代	法量(cm)	品類	備品受入番号
18-H5-73	格子文様刺繍	南スマトラ州/パレンバン	19-20世紀	170.0×96.0	絹、木綿、金箔刺	50004571
18-H5-74	華文文様刺繍	南スマトラ州/パレンバン	19-20世紀	56.5×211.0	木綿、絹、磨金糸、刺繍用絹糸、 綿レース	50004572
18-H5-75	アラビア文字文様および 華文文様刺繍	南スマトラ州/パレンバン	19-20世紀	10.4×31.5、 42.0×30.8	絹ビロード、磨金糸、 スパンコール	50004574
18-H5-76	華文文様刺繍	南スマトラ州/パレンバン	19-20世紀	11.9×30.6、 42.9×30.9	絹、刺繍用絹糸、スパンコール	50004573
18-H5-77	幾何学文様刺繍糸紋織	南スマトラ州/パセマ	19-20世紀	172.0×31.3	木綿、絹、磨金糸、磨銀糸、天然染料	50004567
18-H5-78	幾何学文様刺繍糸紋織	南スマトラ州/パセマ	19-20世紀	205.0×44.0	絹、磨金糸、磨銀糸	50004568
18-H5-79	幾何学文様刺繍糸紋織	南スマトラ州/パセマ	19-20世紀	239.2×38.5	絹、磨金糸、磨銀糸、木綿、絹、天然染料	50004569
18-H5-80	幾何学文様刺繍糸紋織	プクム州/ルジャン-ルボン	19-20世紀	166.0×44.0	木綿、絹、天然染料	50004575
18-H5-81	縦文様刺繍幾何学文様刺繍糸紋織	プクム州/ルジャン	19-20世紀	158.2×52.3	木綿、絹、天然染料	50004576
18-H5-82	縦文様刺繍幾何学文様刺繍糸紋織	プクム州/ルジャン-ルボン	19-20世紀	154.2×50.1	木綿、磨金糸、絹	50004577
18-H5-83	幾何学文様刺繍糸紋織	プクム州/ルジャン-ルボン	19-20世紀	145.5×50.5	木綿、天然染料	50004568
18-H5-84	幾何学文様刺繍糸紋織	プクム州/ルジャン-ルボン	19-20世紀	170.4×53.3	木綿、磨金糸、磨銀糸、絹	50004568
18-H5-85	生命樹文様刺繍	ランブン州	19-20世紀	142.0×69.0	刺繍用絹糸、磨金糸、雲母片	50004578
18-H5-86	経織	ランブン州/北ランブンおよび中ランブン	19-20世紀	134.6×87.1	絹、木綿、天然染料	50004579
18-H5-87	経織帯格子十字文様刺繍	ランブン州/北ランブントゥランパワン	19-20世紀	140.0×113.3	絹、磨金糸、天然染料	50004580
18-H5-88	経織玉文様刺繍	ランブン州/北ランブントゥランパワン	19-20世紀	113.4×108.0	絹、木綿、磨金糸、天然染料	50004581
18-H5-89	経織十字文様刺繍	ランブン州/北ランブントゥランパワン	19-20世紀	120.0×124.2	木綿(手紡ぎ)、絹、刺繍用絹糸、 雲母片、天然染料	50004582
18-H5-90	経織幾何学文様刺繍	ランブン州/北ランブントゥランパワン	19-20世紀	118.2×114.4	絹、木綿、磨金糸、雲母片、天然染料	50004583
18-H5-91	経織幾何学文様刺繍	西ランブン/南プクム カクワム地方	19-20世紀	30.5×130.7	木綿(手紡ぎ)、絹、雲母片、 天然染料	50004583
18-H5-92	経織幾何学文様刺繍	西ランブン/南プクム カクワム地方	19-20世紀	140.0×113.0	木綿、絹、刺繍用絹糸、雲母片、 天然染料	50004583
18-H5-93	経織十字幾何学文様刺繍	ランブン州/北ランブンおよび中ランブン	19-20世紀	116.4×113.0	絹、木綿(手紡ぎ)、磨金糸、刺繍用 絹糸、スパンコール、天然染料	50004584
18-H5-94	経織馬十字文様刺繍	ランブン州/北ランブン/ワイカガンおよびスルカイ	19-20世紀	118.4×122.3	木綿、磨金糸、雲母片、天然染料	50004585
18-H5-95	幾何学文様刺繍	ランブン州/西ランブン	19-20世紀	126.3×121.0	木綿(手紡ぎ)、インド産木綿糸、 雲母片、天然染料	50004586
18-H5-96	幾何学文様刺繍生物文様刺繍	ランブン州/西ランブン	19-20世紀	124.8×148.2	木綿(手紡ぎ)、刺繍用絹糸、 天然染料	50004587
18-H5-97	幾何学文様刺繍生物文様刺繍	ランブン州/西ランブン海岸部	19-20世紀	123.0×118.8	木綿(手紡ぎ)、刺繍用絹糸、 雲母片、天然染料	50004588
18-H5-98	幾何学文様刺繍糸紋織糸紋織幾何学文様刺繍	ランブン州/南ランブン/スマンカ海岸部	19-20世紀	124.0×111.1	絹(手紡ぎ)、木綿、磨金糸、 磨銀糸、雲母片、天然染料	50004589
18-H5-99	経織幾何学人物文様刺繍	ランブン州/北ランブンおよび中ランブン 海岸部	19-20世紀	120.8×109.2	木綿(手紡ぎ)、絹、磨金糸、 刺繍用絹糸、雲母片、天然染料	50004590
18-H5-100	経織絹文様刺繍糸紋織	ランブン州	19-20世紀	128.6×119.0	絹、天然染料	50004591
18-H5-101	動物文様刺繍	ランブン州/南ランブン海岸部	19-20世紀	114.4×114.2	絹(手紡ぎ)、木綿、磨金糸、 雲母片、天然染料	50004592
18-H5-102	動物文様刺繍糸紋織	ランブン州/西ランブンおよび中ランブン	19-20世紀	274.2×59.0	木綿(手紡ぎ)、絹、磨銀糸、 天然染料	50004593
18-H5-103	動物文様刺繍糸紋織	ランブン州/南ランブン	19-20世紀	103.0×39.0	木綿(手紡ぎ)、絹、磨銀糸、 天然染料	50004594
18-H5-104	幾何学文様刺繍糸紋織	ランブン州	19-20世紀	299.5×48.5	木綿(手紡ぎ)、絹、金箔刺、 磨銀糸、天然染料	50004595
18-H5-105	人物文様刺繍糸紋織	ランブン州/南ランブン	19-20世紀	292.5×77.5	木綿(手紡ぎ)、絹、磨銀糸、 天然染料	50004596
18-H5-106	幾何学文様刺繍糸紋織	ランブン州	19-20世紀	61.0×40.0	木綿(手紡ぎ)、天然染料	50004596
18-H5-107	幾何学文様刺繍糸紋織	ランブン州/北ランブン	19-20世紀	180.0×97.4	絹、磨金糸、磨銀糸、天然染料	50004597
18-H5-108	幾何学文様刺繍糸紋織	ランブン州/北ランブン	19-20世紀	198.6×106.3	木綿、磨金糸、磨銀糸、市販の絹 フレード、天然染料	50004597
18-H5-109	幾何学文様刺繍糸紋織	ランブン州	19-20世紀	190.0×105.2	木綿、磨金糸、磨銀糸、天然染料	50004597
18-H5-110	幾何学文様刺繍糸紋織	ランブン州	19-20世紀	210.4×103.0	木綿、磨金糸、磨銀糸、天然染料	50004597
18-H5-111	経織幾何学文様刺繍糸紋織	ランブン州/北ランブンおよび中ランブン	19-20世紀	122.4×258.6	絹、木綿(手紡ぎ)	50004599

所蔵品番号	作品名	産地	時代	法量(cm)	品類	備品受入番号
18-H5-112	経織幾何学文様刺繍糸紋織	ランブン州/北ランブンおよび中ランブン	19-20世紀	101.1×232.0	絹、木綿(手紡ぎ)	50004599
18-H5-113	経織幾何学文様刺繍糸紋織	ランブン州/中央ランブン	19-20世紀	236.0×123.1	木綿(手紡ぎ)、磨金糸、磨銀糸、 天然染料	50004600
18-H5-114	経織幾何学文様刺繍糸紋織	ランブン州/中央ランブン	19-20世紀	224.0×116.2	絹、木綿、天然染料	50004601
18-H5-115	格子刺繍幾何学文様刺繍糸紋織	ランブン州/北ランブン/コタ・ピ	19-20世紀	206.4×128.0	木綿(手紡ぎ)、磨金糸、 刺繍用絹糸、天然染料	50004602
18-H5-116	格子刺繍幾何学文様刺繍糸紋織	ランブン州/北ランブントゥランパワン	19-20世紀	218.4×114.0	木綿、磨金糸、磨銀糸、 刺繍用絹糸、天然染料	50004603



日・清海軍通商手続(蘭)製作後 刺繍
[手紡ぎ刺繍糸紋織、六十七種、花の林] 江戸時代*



約作又兵衛(三十六番組通商)
[蘭分・磨金糸] 江戸時代初期



生命樹文様刺繍(ランブン州) 19-20世紀*

平成12年度図書関係受入状況

	和書	洋書
購入	図書 139	53
	図録 16	35
	年報・紀要 2	0
寄贈	図書 184	17
	図録 569	22
	年報・紀要 272	0
	製本資料 39	0
	雑誌 469	134
合計	1,680	261
累計	1,951	

単位(冊)

平成12年度ビデオ関係受入状況

	購入	寄贈
ビデオ	27	
レーザーディスク	0	
コンパクトディスク	0	
ビデオ	7	
レーザーディスク	0	
コンパクトディスク	0	
合計	34	

単位(冊)

美術資料の修復と貸出

美術資料の修復

種別	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	数量	所蔵品番号
日本画	葛田 運仙	御堂の桜	1933年	168.1×184.6	絹本着色	1幅	1-B-67
	小早川 清	旗本退治	1933年	219.2×168.3	絹本着色	1幅	1-B-79
	葛田 運仙	浮城三景	1916年	170.8×71.2	絹本着色	1幅	1-B-158
	葛田 運仙	伏見八景 大宰府の櫻	1924年	114.0×39.5	絹本着色	1幅	1-B-174
	葛田 運仙	伏見八景 新道寺の櫻	1924年	114.0×39.5	絹本着色	1幅	1-B-175
	葛田 運仙	伏見八景 新道寺の櫻	1924年	114.0×39.5	絹本着色	1幅	1-B-177
	葛田 運仙	伏見八景 新道寺の櫻	1924年	114.0×39.5	絹本着色	1幅	1-B-178
	葛田 運仙	伏見八景 新道寺の櫻	1924年	114.0×39.5	絹本着色	1幅	1-B-181
染織	今井 信満	赤	1958年	184.7×260.4	染織、石、帆布	1点	2-A-74

古美術

種別	作品名	時代	法量(cm)	品類	数量	所蔵品番号
染織	人物花卉文綴織	後期コプト時代(7-8世紀)	26.5×30.0(L:穿眼径14.5(内用))	絹、羊毛製	2枚	6-Hd-151-2
	人物文輪帯織角巾	中期-後期コプト時代(6-8世紀)	26.6×21.8	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-3
	鳥獣花卉文綴織	後期コプト時代(8-9世紀)	28.0×42.6	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-4
	動物花卉文綴織	後期コプト時代(8-9世紀)	10.5×21.5	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-8
	動物文綴織	後期コプト時代(10-11世紀)	5.0×16.0	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-9
	円花文綴織	後期コプト時代(7-8世紀)	7.5×11.6	羊毛製	1枚	6-Hd-151-10
	騎馬人物文綴織角巾	中期コプト時代(5-6世紀)	13.5×13.0	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-15
	絹結文綴織	後期コプト時代(8-9世紀)	7.7×17.3	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-16
	絹文綴織	後期コプト時代(7-8世紀)	7.0×15.0	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-17
	赤地動物花卉文綴織	後期コプト時代(8-9世紀)	31.5×11.0	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-19
	花卉文綴織	後期コプト時代(10-11世紀)	29.0×4.5	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-20
	騎馬人物文綴織	後期コプト時代(7-8世紀)	30.5×22.5	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-25
	動物文綴織	後期コプト時代(7-8世紀)	16.5×26.5	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-26
	赤地動物花卉文綴織角巾	後期コプト時代(8-9世紀)	22.5×30.8	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-27
	花文綴織	後期コプト時代(9-10世紀)	8.5×11.2	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-28
	藍地花文綴織	後期コプト時代(8-9世紀)	8.3×16.0	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-29
	人物動物文毛綴織角巾	後期コプト時代(7-8世紀)	11.0×8.5	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-30
	絹織	後期コプト時代(9-10世紀)	径10.5	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-31
	花文綴織	後期コプト時代(9-10世紀)	2.2×23.8	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-32
	人物動物文毛綴織	中期コプト時代(6-7世紀)	21.8×19.6	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-33
	人物動物文毛綴織	後期コプト時代(8-9世紀)	13.5×19.6	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-34
	赤地人物文綴織	後期コプト時代(8-9世紀)	11.8×13.5	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-36
	曼荼羅文綴織	後期コプト時代(9-10世紀)	5.3×8.5	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-38
	絹織	後期コプト時代(9-10世紀)	4.2×3.3	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-39
	花卉文綴織	後期コプト時代(7-8世紀)	6.5×18.0	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-46
	絹織	後期コプト時代(11-12世紀)	10.0×10.3	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-48
	花卉文綴織	後期コプト時代(9-10世紀)	3.5×10.8	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-49
	花文綴織	後期コプト時代(9-10世紀)	5.5×5.6	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-50
	曼荼羅文毛綴織	後期コプト時代(7-8世紀)	5.5×16.6	羊毛製	1枚	6-Hd-151-54
	赤地花文綴織	中期コプト時代(6世紀)	15.0×24.0	羊毛製	1枚	6-Hd-151-55
	人物文綴織	後期コプト時代(9-10世紀)	7.0×9.5	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-56
	人物鳥獣文毛綴織	後期コプト時代(9-10世紀)	9.0×15.8	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-58
	花卉人物文綴織	後期コプト時代(8-9世紀)	径17.2	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-60
	動物花卉文綴織	後期コプト時代(10-11世紀)	35.5×7.5	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-61
	花卉文綴織	後期コプト時代(8-9世紀)	17.5×15.5	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-62
	花文綴織	後期コプト時代(9-10世紀)	8.0×11.3	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-63
	絹結文綴織	後期コプト時代(11-12世紀)	20.4×22.5	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-64
	花卉文綴織	後期コプト時代(7-8世紀)	8.0×9.5	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-67

古美術

種別	作品名	時代	法量(cm)	品類	数量	所蔵品番号
染織	曼荼羅文綴織	後期コプト時代(9-10世紀)	9.0×8.0	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-68
	曼荼羅文綴織	後期コプト時代(9-10世紀)	5.2×13.2	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-69
	人物動物文綴織	後期コプト時代(9-10世紀)	径8.0	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-70
	小花文綴織	後期コプト時代(10-11世紀)	15.0×23.6	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-71
	動物花卉文綴織	後期コプト時代(9-10世紀)	20.0×19.0	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-72
	絹結文綴織	後期コプト時代(7-8世紀)	14.7×25.3	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-73
	人物動物文綴織	後期コプト時代(8-9世紀)	13.5×12.6	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-74
	赤地花卉文綴織	後期コプト時代(8-9世紀)	5.3×19.3	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-75
	人物文綴織角巾	後期コプト時代(8-9世紀)	11.7×11.7	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-76
	騎馬人物文綴織	後期コプト時代(9-10世紀)	14.0×15.0	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-77
	有翼人物文綴織	後期コプト時代(8-9世紀)	6.0×15.5	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-78
	赤地花文綴織	後期コプト時代(7-8世紀)	径4.5	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-79
	赤地花文綴織	後期コプト時代(9-10世紀)	径5.5	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-80
	絹織	後期コプト時代(9-10世紀)	11.5×12.0	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-84
	花文綴織	後期コプト時代(9-10世紀)	13.8×9.5	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-85
	動物文綴織	後期コプト時代(8-9世紀)	4.3×21.0	絹、羊毛製	1枚	6-Hd-151-86

美術資料の貸出

種別	作家名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
染織	ラファエル・コラン	帽子を持つ婦人	3-A-2	ラファエル・コラン展	静岡県立美術館	平成11年9月10日—10月24日
					福岡県美術館	平成11年10月30日—11月28日
					徳島県立美術館	平成11年12月4日—平成12年1月16日
					千葉県立美術館	平成12年2月9日—3月5日
					愛媛県美術館	平成12年4月10日—5月7日
					東京ステーションギャラリー	平成12年5月27日—7月2日
日本画	森田眞司	京儀社沖鳥	2-B-9	森田眞司展	京都国立近代美術館	平成12年4月1日—5月7日
					茨城県立美術館	平成12年5月13日—6月18日
					新潟県立近代美術館	平成12年7月1日—8月20日
					群馬県立美術館	平成12年9月10日—10月9日
日本画	横山大観	龍舟 矢追の朝 泰山時雨	2-B-6 7-B-54 2-B-7	大観	ふくやま美術館	平成12年4月7日—5月14日
染織	青井清	まづり	2-A-31	青井清展	兵庫県立近代美術館	平成12年4月6日—6月4日
					東京都立美術館	平成12年6月24日—6月29日
フレスコ	綱谷幸二	ザンドラ嬢の肖像	2-A-72	綱谷幸二展	宮崎県立美術館	平成12年4月21日—5月21日
染織	長谷川利行	ハーゲンベックのサーカス	2-A-36	没後60年 長谷川利行展	神奈川県立近代美術館	平成12年5月27日—7月9日
					宇都宮県美術館	平成12年7月16日—8月20日
					三重県立美術館	平成12年8月26日—10月9日
					東京ステーションギャラリー	平成12年10月14日—11月19日
染織	光島青三郎	鏡	1-A-40	東京染織の歴史と発展	台北市立美術館	平成12年6月3日—8月27日
染織	松本繁二郎	大鳥の一部	1-A-43			
染織	篠丸	丸2	1-A-29	アートに於ける書 Vol.2	福岡県立美術館	平成12年7月8日—8月27日
写真	篠丸	工場構	1-E-423	篠丸のヒ・ミ・ツ展		
写真	篠丸	自転車	1-F-20			
版画	篠丸	香	1-F-43			
彫刻	宮崎淳之助	木の球による提示(一)空鐘	1-G-25	提示みこも美術展Part5 みこみよう！	熊本県立美術館	平成12年7月19日—8月31日
彫刻	宮崎淳之助	木の球による提示(一)カ石	1-G-26	みこみよう！感じてみよう！		
染織	植野謙二	赤雲紋空国風草	2-A-57	子供の世界 遊びと暮らし	茨城県立美術館	平成12年8月5日—9月3日
染織	阿部龍也	アダムとイヴ	2-A-12	阿部龍也展	新潟県立美術館	平成12年9月12日—10月22日
					河口湖美術館	平成12年11月3日—12月24日
					東京ステーションギャラリー	平成13年2月24日—3月25日

種別	作家名	作品名	所蔵品番号	出品機会	展覧会場	展覧期間
油彩	岡本繁	秋典	1-A-298	日本美術の20世紀	東京都現代美術館	平成12年9月15日—11月19日
油彩	三好好太郎	海と射光	2-A-40	美術が語るこの100年		
日本画	富田清仙	沖崎三郎				
油彩	オノサトシノブ	あか・き・みどり・あじ	2-A-20	複製品バイオニア オノサトシノブ	群馬県立近代美術館	平成12年9月23日—11月6日
油彩	海老原寛之助	魚舟	1-A-30	20世紀回顧 島見島と洋画展	鹿児島市立美術館	平成12年9月29日—11月5日
油彩	レオナルド・ダ・ヴィンチ	切取標本	3-A-6	近代日本の複製展	井原市立田中美術館	平成12年9月29日—11月12日
日本画	吉村忠天	福島の童子	1-B-85	大伴家持基平社在1250年記念 近代日本画にみる万葉の世界展	高岡市美術館	平成12年9月30日—10月22日
油彩	半島繁之	良縁集	1-A-23	生誕100年記念 半島繁之展	高崎市美術館	平成12年10月14日—11月26日
油彩	半島繁之	赤坂見附	1-A-24		北九州市立美術館	平成13年1月11日—1月26日
油彩	半島繁之	切られた首	1-A-25		神戸市立小磯記念美術館	平成13年2月10日—4月15日
					茨城県つくば美術館	平成13年4月28日—6月3日
油彩等	アンディ・ウォーホル	エルヴィス	3-A-98	アメリカン・ドリームの世界展	愛知県美術館	平成12年11月23日—平成13年1月26日
					兵庫県立近代美術館	平成13年2月7日—平成13年3月25日
水彩	和田三造	昭和職業婦人序曲	7-C-5	木塚の美 坂元一 吉吉義典と田本繁	陸奥市立美術館	平成13年1月17日—3月29日
油彩等	田中敦子	作品1	2-A-80	田中敦子展 未知の扉1954-2000	鹿児島市立美術館後援館 静岡県立美術館	平成13年3月3日—5月6日 平成13年7月28日—9月9日

種別	作品名	作者名	所蔵品番号	出品機会	展覧会場	展覧期間
絵巻	藤樹入行儀図屏風		4-B-101	九州・沖縄サミット福岡展相合会	福岡市博物館	平成12年7月8日—7月11日
絵巻	松島図屏風		4-B-102	ワーキングランチ会場展示		
史料	日光真鍮立像		5-D-4			
絵巻	布袋見舞舞図	宮本武蔵	6-B-29			
絵巻	花巻図	尾形幹山	6-B-36			
陶磁器	色紙志野山笠茶壺	野々村仁清	6-Ha-50			
絵巻	円相図	山内義興	9-B-9			
絵巻	源氏物語御筆巻	土佐光起	11-B-10			
絵巻	竹鶴 若松図屏風	円山文華	11-B-18			
陶磁器	徳島花文文藝形瓶		14-Ha-106			
絵巻	伊大納言絵巻		6-B-18	出陣いと暮らしー	サントリー美術館	平成12年9月5日—10月22日
絵巻	藤千・寒山拾遺図	伝・行野元信	7-B-73	改事人物画と物語絵		
絵巻	源氏物語御筆巻	土佐光起	11-B-10			
その他	茶配および時計		4-Ha-168	青吉堂自伝	大原城天守閣	平成12年10月7日—11月12日
その他	法螺貝(北条白貝)		4-Ha-172			
陶磁器	上野割山形向付		6-Ha-110	筑豊の海の上野・高取橋	熊本市歴史資料館	平成12年10月19日—11月26日
金工	丹波唐草文		6-Ha-105			
陶磁器	高取唐草文		14-Ha-1			
陶磁器	高取唐草文		14-Ha-2			
陶磁器	高取唐草文		14-Ha-4			
陶磁器	高取唐草文		14-Ha-82			
陶磁器	香炉土器(弥生時代)		6-Ha-36	土器の遺りー 縄文の動・弥生の静ー 東洋国立博物館		平成13年1月30日—3月11日
陶磁器	青花牡丹唐草文壺		17-Ha-356	ペトナム青花一大陸の海上の華ー	町田市立博物館	平成13年3月27日—5月6日
陶磁器	青花牡丹文花瓶		17-Ha-363			
陶磁器	青花牡丹文花瓶		17-Ha-367			
陶磁器	青花牡丹文花瓶		17-Ha-369			
陶磁器	青花牡丹文花瓶		17-Ha-373			
陶磁器	青花牡丹文花瓶		17-Ha-375			
陶磁器	青花牡丹文花瓶		17-Ha-379			
陶磁器	青花唐草文水注		17-Ha-389			

美術館協議会委員		
会長	菊竹淳一	九州大学教授
副会長	吉岡 毅	作家
学校教育関係者	出田純子	多々良中学校長
	古賀哲躬	福岡女子高等学校長
	松尾浩二	名島小学校長
社会教育関係者	足達千鶴子	福岡市地域婦人会常任理事
	石橋美恵子	福岡市社会教育委員
	井上長利	福岡市老人クラブ連合会会長
	小林俊子	福岡市青少年団体連絡会議事録
学識関係者	青木 秀	(株)西日本新聞社取締役相談役 (平成12年11月4日まで)
	大西修也	九州芸術工科大学教授
	木戸隆一	福岡県美術協合理事長
	中西久吉	福岡市美術振興審議会委員
	西島伊三雄	福岡文化連盟理事長
	濱砂圭子	育児情報誌編集長
	吉川智次	福岡大学教授
	松尾孝司	(株)西日本新聞社文化部長 (平成12年11月5日より)

収集審査委員	
近現代美術	
乾 由明	京都大学名誉教授
空水毅義	明星大学教授
富山秀男	石橋財団プリンスストン美術館長
中村英樹	名古屋芸術大学教授
吉川智次	福岡大学教授
吉美術	
小笠原小枝	日本女子大学教授
菊竹淳一	九州大学教授
財津永次	下関市立美術館長
吉田宏志	京都府立大学教授
吉永隆三	佐賀県立九州陶磁文化館学芸課長

(50名額・敬称略・肩書きは平成12年度のもの)

職員	
館長	尾花 剛
副館長(事業管理部長事務代理)	
事業管理部長	小林 毅
管理課長	清水隆之
管理係長	橋原義平
管理係	川副洋子
	福永幸一
	岩永祐二
主査(展覧会等運営調整専任)	長野橋男
学芸課長	石田泰弘
学芸係長	尾崎直人
主任学芸主事	柴田勝則
	渡邊雄二
学芸員	山口洋三
	三谷理華
	山本春樹子
	鬼本佳代子
嘱託員	橋島尚昭
	川村哲也
	チャレット三宅万里子
	中野千代子
	畑 千代美

平成12年度 福岡市美術館活動の記録

編集 福岡市美術館

デザイン 大宝拓雄デザイン事務所

印刷 有限会社 光文堂

発行 2001年12月25日 福岡市美術館
〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6
電話(092)714-6051
福岡市美術館 2001年

FUKUOKA ART MUSEUM